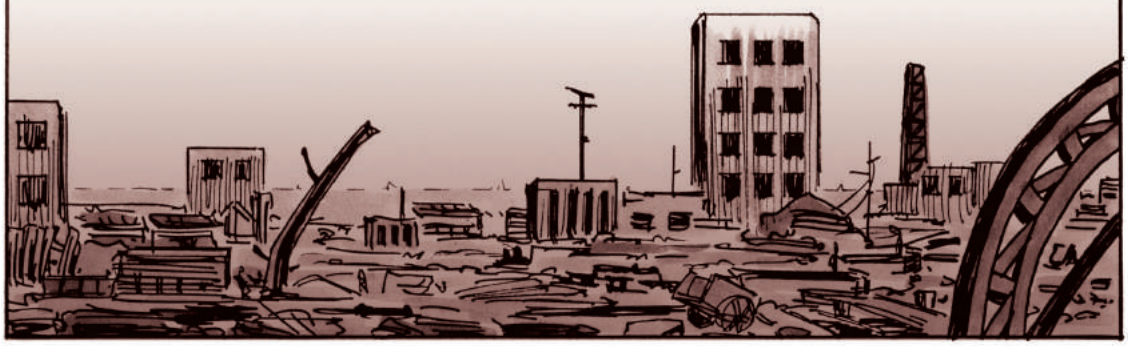
2009
鏡板を極める

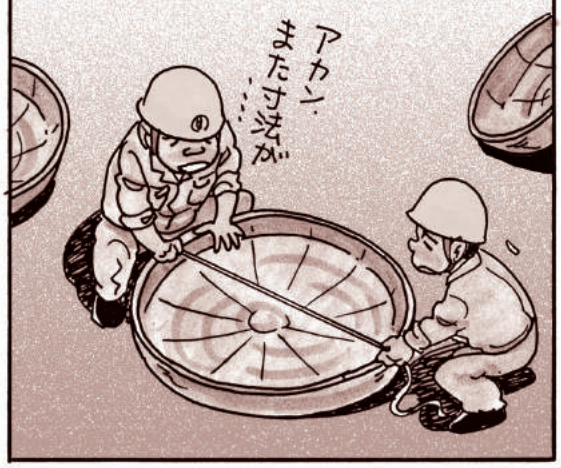
「前編の
あらまし」

終戦後、
戦争によって
すべてを破壊された
日本の社会・経済は
復興への道を
着々と歩んでいた。

しかし、産業界の
工業技術水準は低く、
北海鉄工所などの
製缶メーカーは
品質のよい鏡板が
調達できないことが
悩みの種であった。

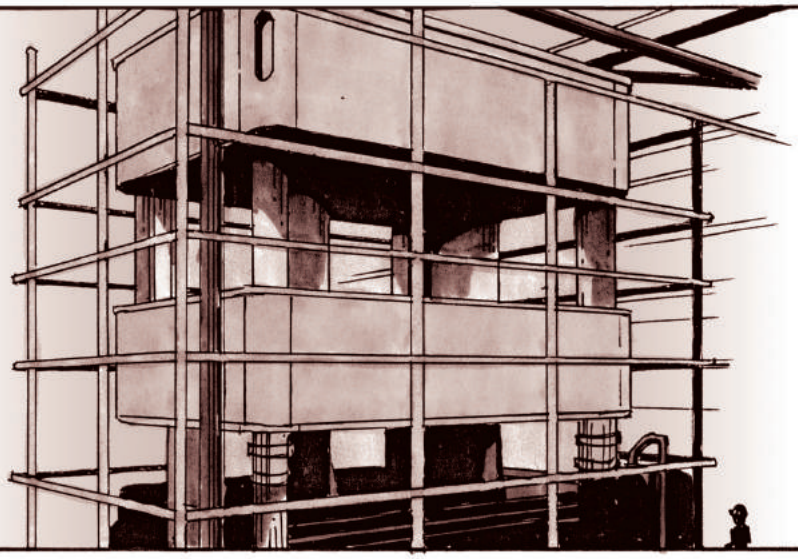


外注した鏡板の
納期遅れは
当たり前で
価格は高く、
納入された
鏡板のほとんどは
手直しが必要な
粗悪品であった。



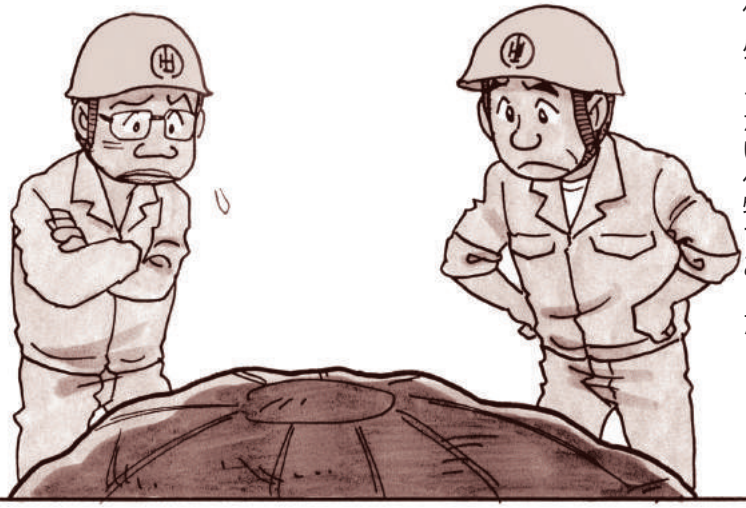
顧客へのタンクの
納期が遅れ、
それに対する
苦情は
日常茶飯事であった。
すべては鏡板が
原因であった。
ついに林社長は
自社で鏡板を
造る決心をした。

幸いにも林社長の確信に満ちた
鏡板事業計画に賛同した銀行や
商社などから資金が調達でき、



世界で初めての大型6千トン
冷間加工鏡板専用プレス機が完成した。

しかし、試作した鏡板は
シワだらけで到底鏡板として
使用できない代物であった。



冷間加工するには
柔らかくて伸びのよい鋼板が
必要であった。

林社長は大手のK製鉄所の
社長に冷間加工できる鋼板を
造ってほしいと要請した。

鋼板の品質が良くなれば
日本経済の発展にもつながると
熱心に説いた。

先見性のある者同士。K製鉄所の社長は鋼板の開発を研究部門に指示され、試行錯誤の末、すばらしい品質の鋼板が誕生した。

「鏡板対策材」と呼ばれた新材料で造られた鏡板はシワひとつもない完璧な製品だった。

しかし、鋼板を加熱しない鏡板は危険だという同業者の悪宣伝もあり、

大手ユーザーの理解を得られず、一向に売れなかった。

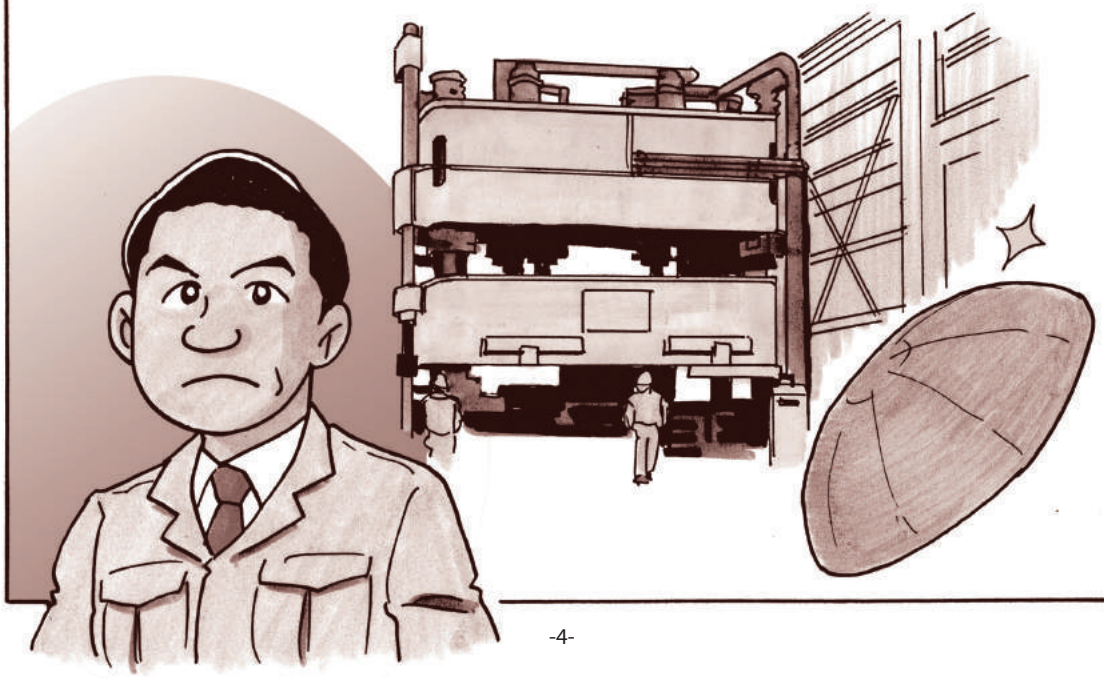
そこで、欧米先進国への販路を開拓することにしアメリカなどへ売り込みに行った。どこも鏡板を冷間加工で造るという説明を信用してくれなかった。

しかし、シカゴにあるアメリカの三大鉄道タンク車メーカーのユニオン・タンク・カー社（U・T・C）が何枚かの鏡板を試験的に発注してくれた。

昭和41年、「U・T・C」の
首脳陣が北海鉄工所を訪れた。

首脳陣は、生産設備の優秀さと
製品のすばらしさに驚嘆した。

「U・T・C」は
大型油圧プレス機の
購入を決定し、
その年の10月に
7千トンプレスの
設備購入ならびに
それに伴う技術指導の
契約書が北海鉄工所、
「U・T・C」、
S商事の三社間で
調印された。

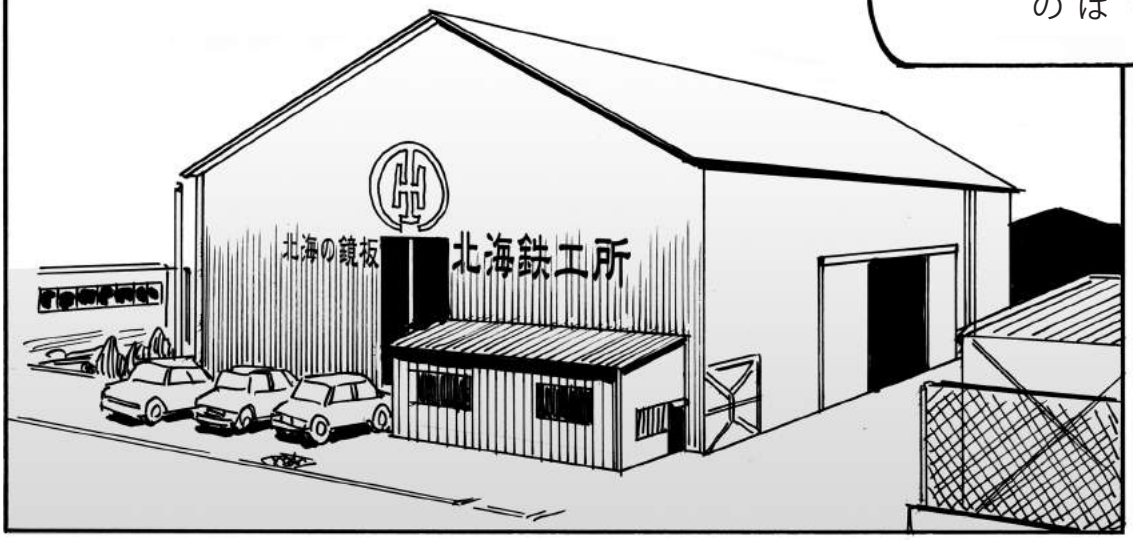


この「鏡板を極める」は
少し戻って、昭和41年の
ＪＩＳ制定の経過から
始めよう。

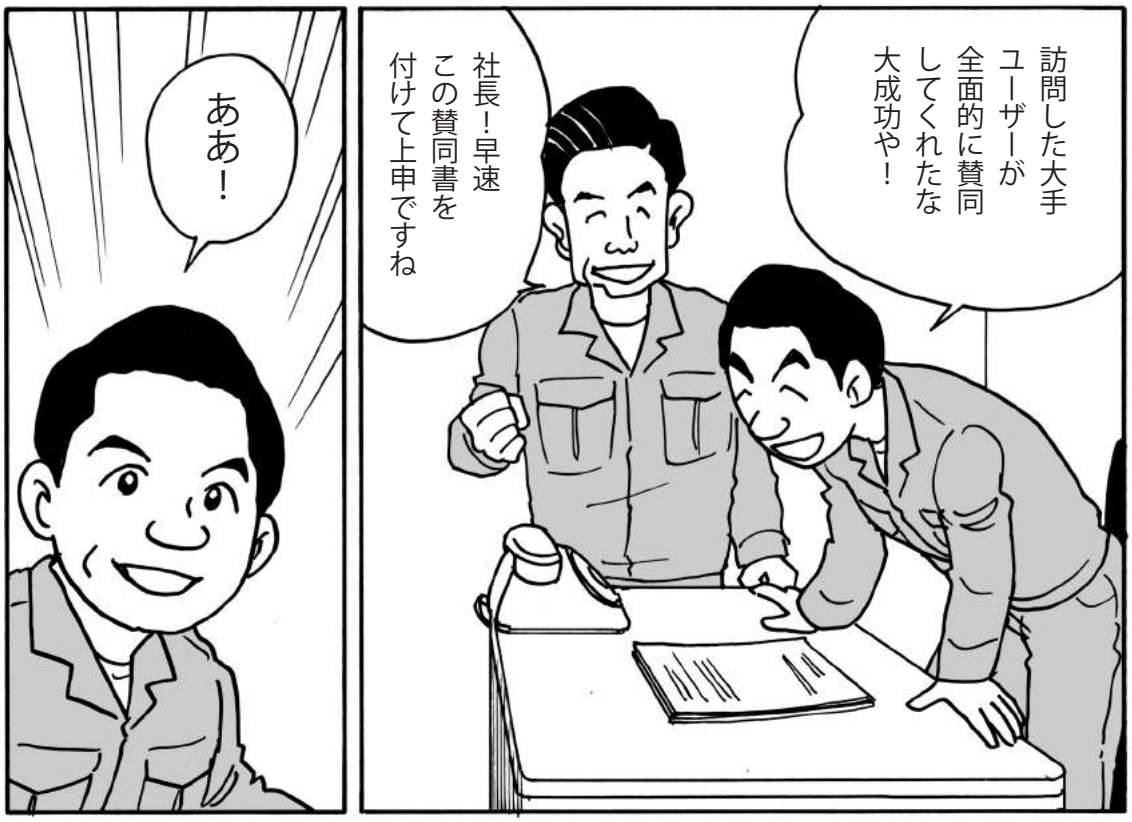
当時は鏡板の形状には
規格がなく、ユーザーは
自社の都合の良い寸法で
鏡板を発注していた。

このままでは鏡板
業界の近代化は
ありえない。
ユーザーも鏡板
メーカーも、共に同じ
基準寸法に沿った
鏡板に変更でき
ないものか?!

北海鉄工所では
形状規格の草案を
作成していた。
もう誰にも鏡板で
苦労させたくない。



A大手ユーザー
応接室
鏡板の
形状規格が
制定されれば
貴社には大きな
メリットが出ます
値段・納期・
品質――
たしかにメリットが
大きいね…
わが社は
賛同しま
すよ
ありがとう
ございます!
こうした
活動を続けた
数ヶ月後――

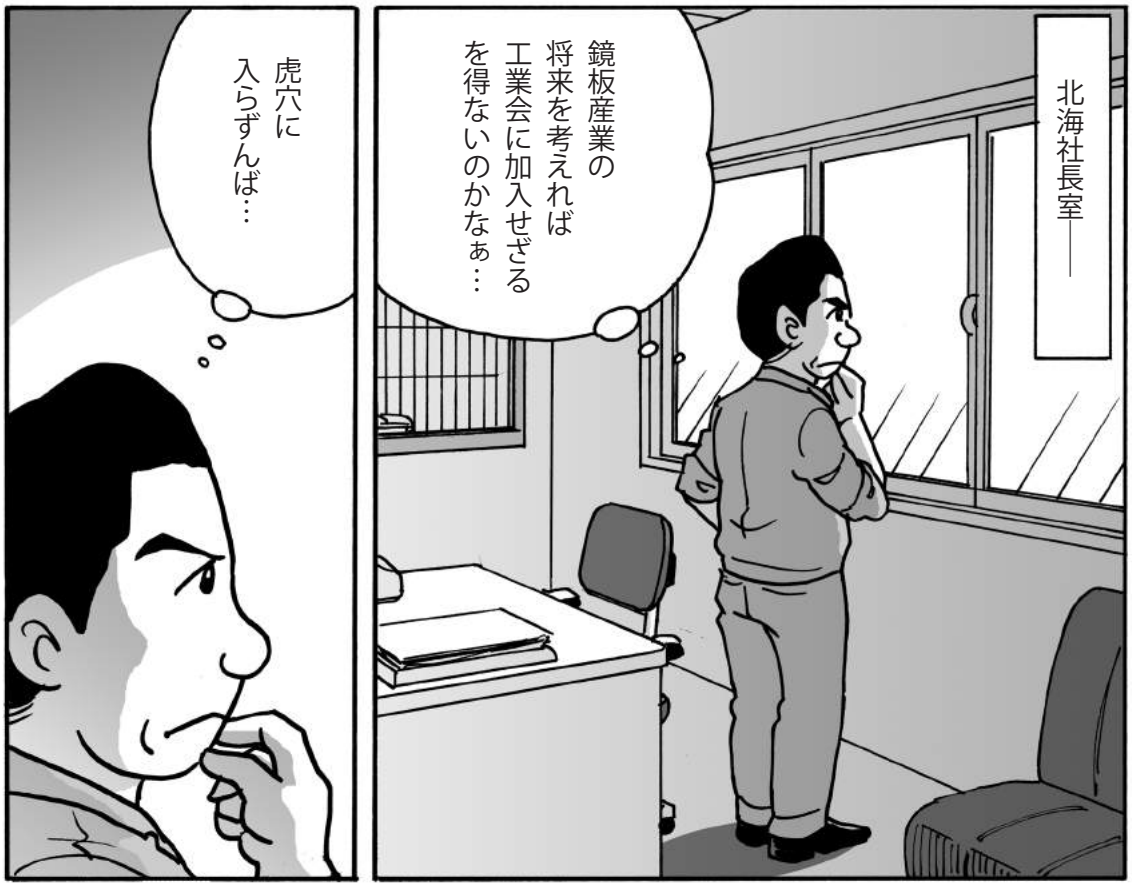

訪問した大手ユーザーが全面的に賛同してくれたな大成功や！
社長！早速この賛同書を付けて上申ですね
ああ！

そして林社長は勇んで東京・通産省規格課に賛同書を添えて、鏡板の形状規格化を申請した。
通商産業省
規格課長
う～ん努力は認めますが…
とりあえず受け取っておきましょう

その後、林社長はたびたび通産省をたずねた。
アチ～…

規格課
課長！その後規格化の話は進んでますか？
……実はねェ

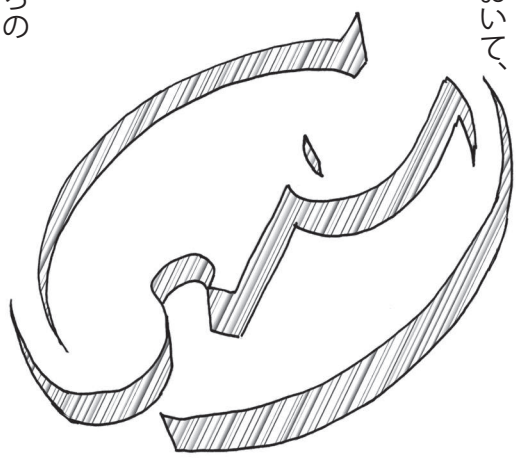
一企業の申請ではムリなんですよ
鏡板工業会からの申請という形にできませんか？
ええっ?!鏡板工業会はアンチ北海なんですよ
それはとても…


北海社長室――
鏡板産業の
将来を考えれば
工業会に加入せざる
を得ないのかなぁ…
虎穴に
入らずんば…

ある日の
鏡板工業会の
理事会――
鏡板を
安心して
使ってもらう
ためには
国が認める
ＪＩＳ製品に
すべきなんです！
そうだ！
反対！
賛成！

数ヶ月後――
数回の会議を経た
鏡板工業会にて――
JIS規格案
について
本件に
関して審議が
尽くされました
ので
本日は決を
とります
賛成の方は
挙手願い
ます！
サッ
サッ
賛成多数に
より
本草案を
ＪＩＳ規格案
として申請
します！

そして、工業技術院主催の
「鏡板ＪＩＳ制定に関する
打合せ会」において、
鏡板工業会からの
上申案が審議され
賛同を得られた。

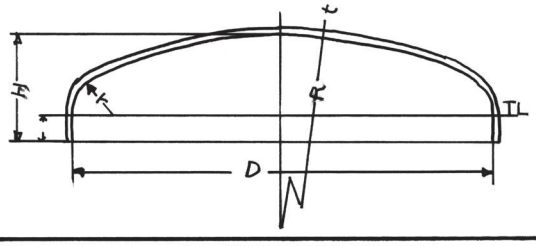


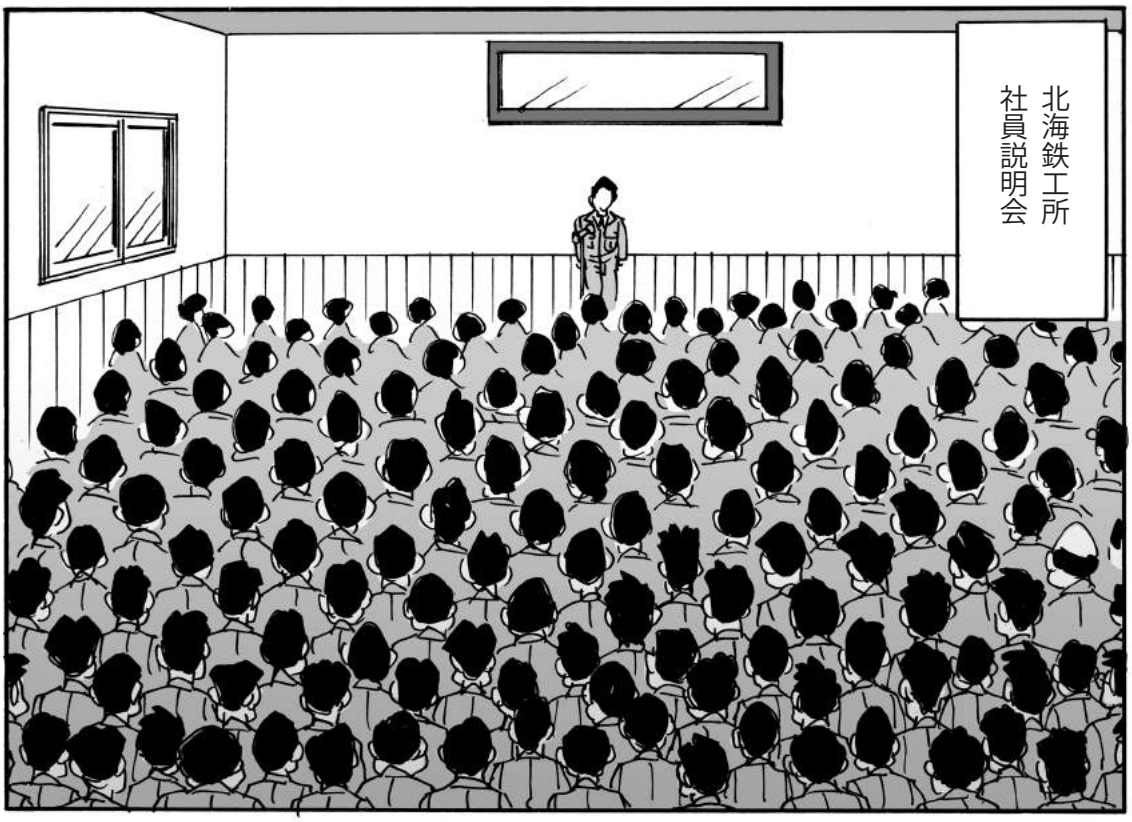
それからまもなく
Ｙ国立大学・Ｎ教授を
委員長とする鏡板
専門委員会が発足し、

工業技術院・大手ユーザー・
林社長など鏡板メーカーの
専門家が委員として
選任された。

その後の慎重な審議の
結果、昭和41年３月、
ついに念願であった
「ＪＩＳ圧力容器用
鏡板の形状寸法
ＪＩＳＢ８２４７①１９６６」
が制定された

表　1



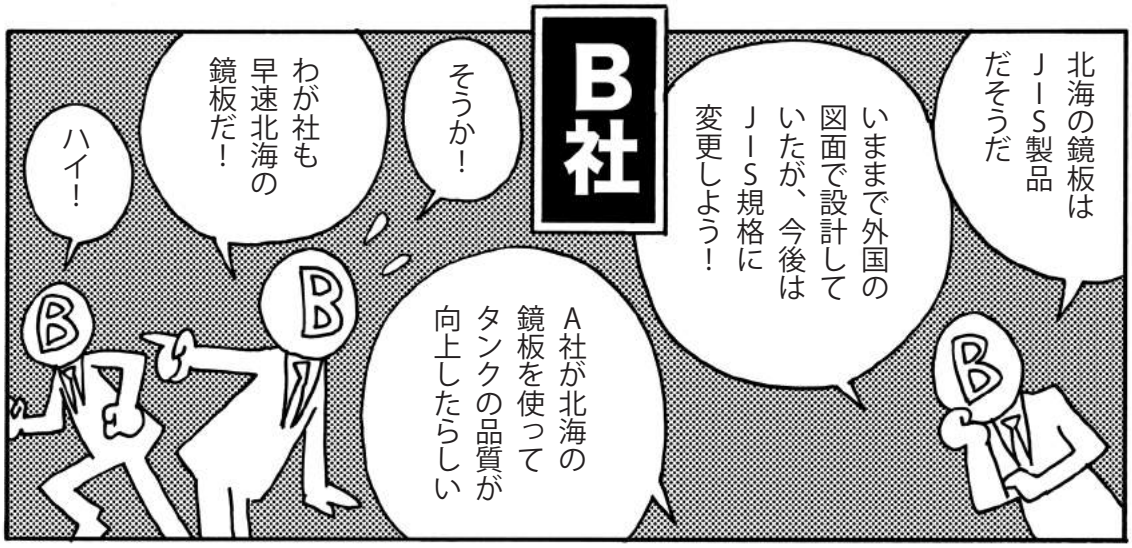

北海鉄工所
社員説明会

ついにわが社の
念願であった
標準化による
品質向上・納期短縮・
価格安定の
目標が達成
しました！

日本工業新聞
北海鉄工所 冷間鏡板
安全性証明！
米国へ輸出
自社開発設備

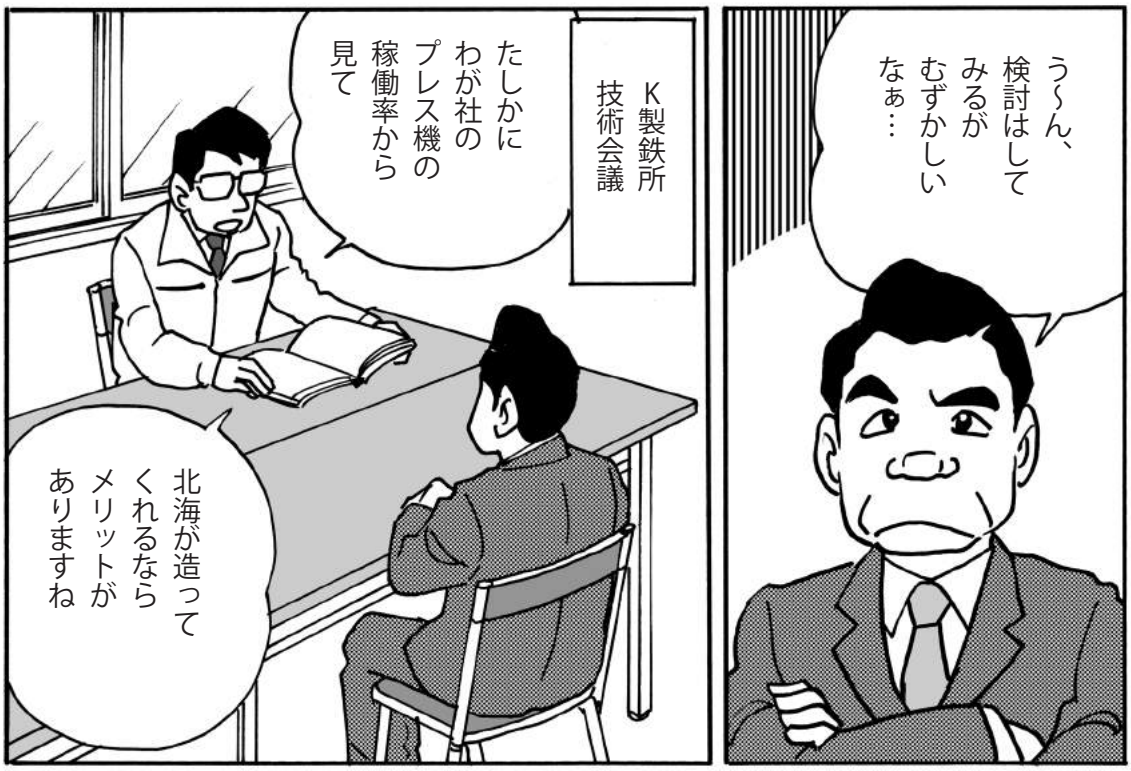
わが社の
鏡板は
ＪＩＳ製品
やで!!
パチパチ
パチパチ

A社
おい！この記事を見ろよ！
北海の鏡板がアメリカで使われ始めたぞ！
アメリカの工科大学で安全性が証明されたので心配ないな
よし！アメリカでオーケーなら使わんと損だな！
値段は半分、納期は三日、手直し不要ですからね！

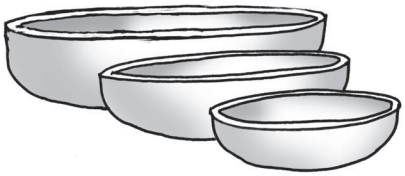

B社
北海の鏡板はＪＩＳ製品だそうだ
いままで外国の図面で設計していたが、今後はＪＩＳ規格に変更しよう！
A社が北海の鏡板を使ってタンクの品質が向上したらしい
そうか！
わが社も早速北海の鏡板だ！
ハイ！

北海の鏡板はレディメイド品やハーフメイド品もあって便利です
Ready Half Made!
Calendor Planning!
これは洋裁の言葉ではありません。
北海の鏡板のことです。
株式会社北海鉄工所
北海の鏡板はタンクの胴体にぴったりや
一度使ったらやめられへんな～
麻薬みたいなもんやな

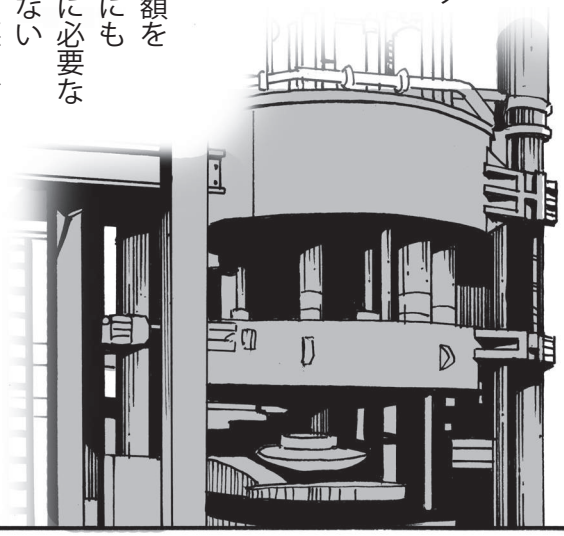
鏡板に関するＪＩＳ
規格は制定されたが、
大手製鉄メーカーや
プラントメーカーでは
依然として鏡板の
自社製作が行われていた。
それが鏡板製造業の
専業化、専門化が一挙に
進まない要因でもあった。
K大手製鉄所
社長室
社長！
鏡板は我々
中小企業に
任せてください！
そのかわり
北海はＫ鉄材
しか使いませんから！


う〜ん、
検討はして
みるが
むずかしい
なぁ…
K製鉄所
技術会議
たしかに
わが社の
プレス機の
稼働率から
見て
北海が造って
くれるなら
メリットが
ありますね

昭和40年代、
大手プラントメーカーでは
社内のプレス機やスピニング
機で鏡板を自社製作
していた。



しかし、莫大な金額を
投資した生産機械にも
かかわらず、自社に必要な
鏡板の生産しかしない
ため稼働率は極めて悪く、
コストアップにつながっていた。



このような事情もあって、
K製鉄所の中止をきっかけに
次々と鏡板製作を中止し、
北海鉄工所などの専門メーカー
からの調達に切り替え始めた。

昭和47年

ニクソンショック

新聞

米国 金交換制停止！

円切り上げ！変動相場制に移行

昭和48年

石油ショック

産油国 原油大幅値上げ！

トイレットペーパー お1人2コまで

製鉄メーカー苦悩！

生産調整はじまる!!

大手プラントメーカー

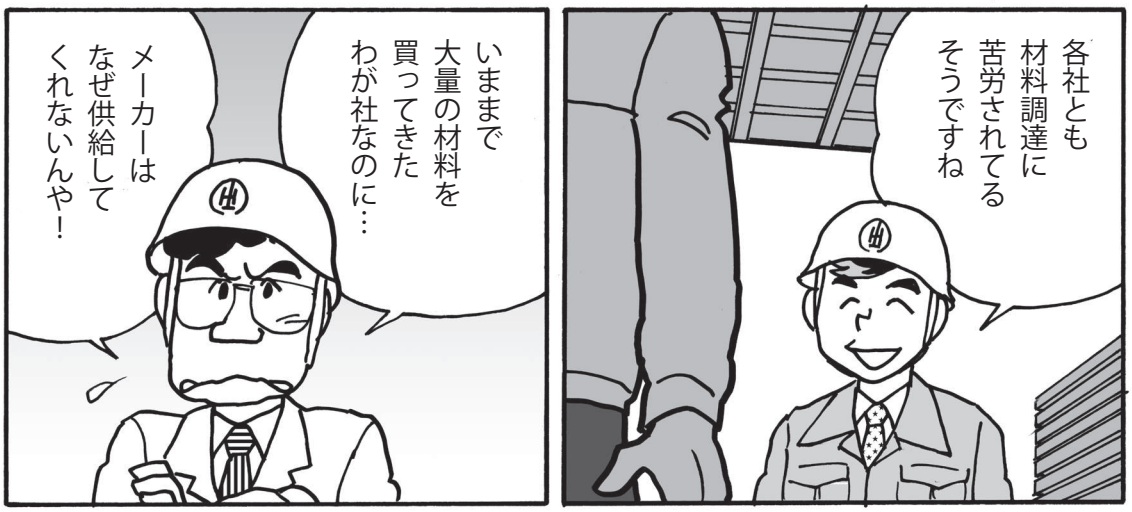
困りました！北海に造ってもらう鏡板用の材料が手に入りません！

何い?!

鏡板がないと仕事にならん

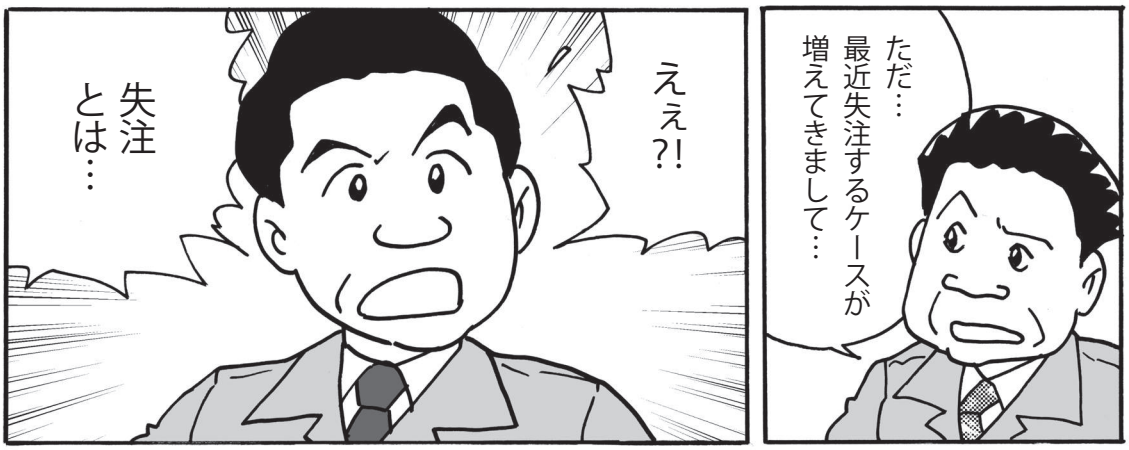
何とかしてくれ！

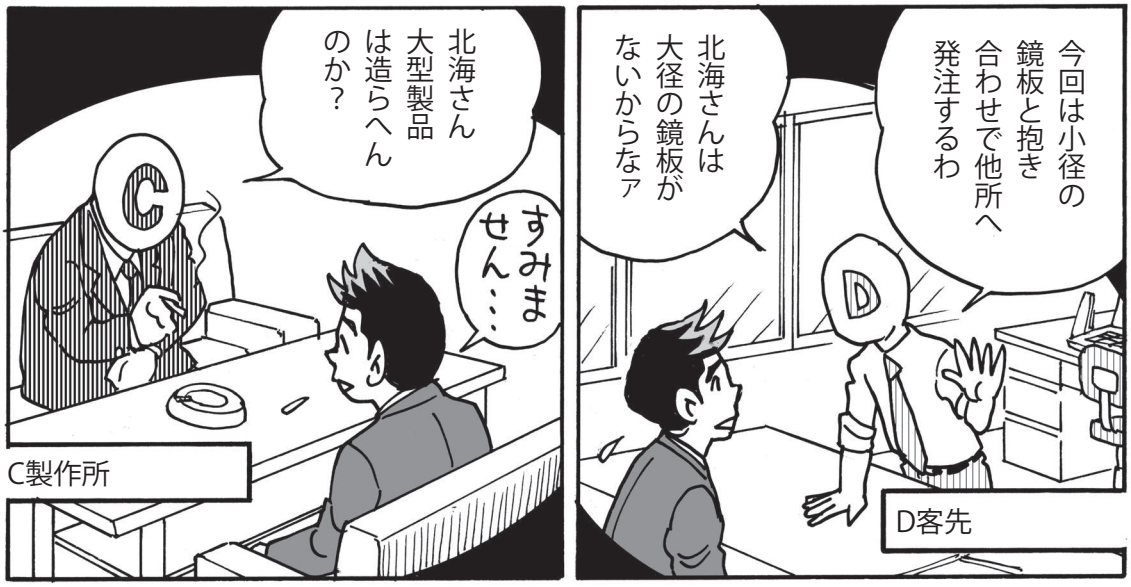
だけど、北海に材料があるとは思えないし…
そうだよなあ…
翌日ー
北海営業員
北海さん材料持ちでやれるか？
もちろんですよ任せてください
本当に材料はあるんやな？
今度工場を見せてもらいに行くで
ハイ
どうぞどうぞ！
北海の材料置場
何やこれは?!
なんぼでも材料があるやないか！

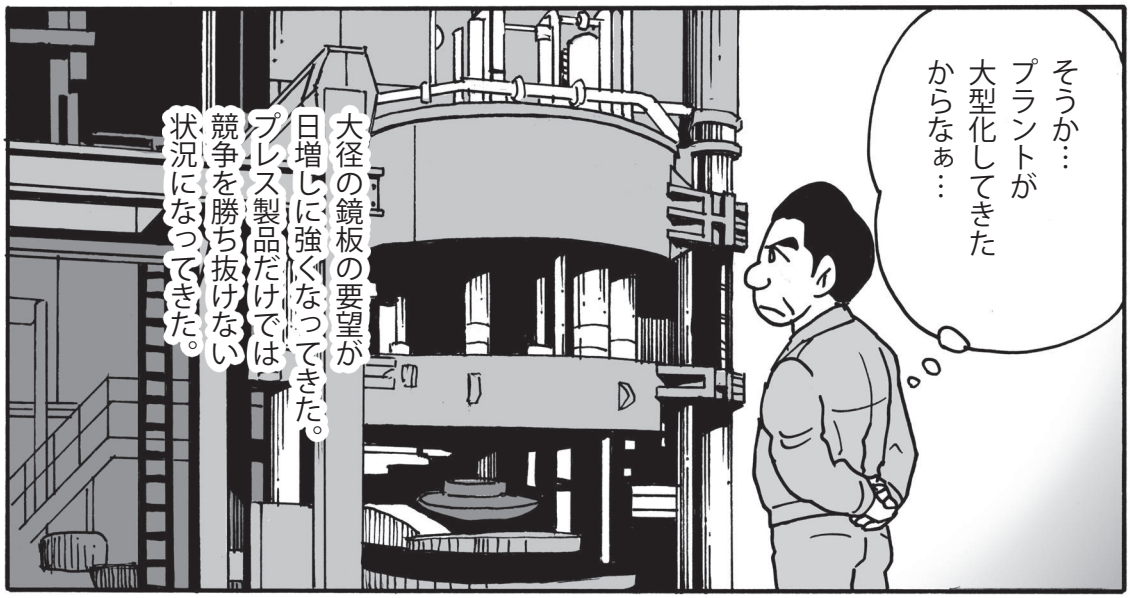

各社とも
材料調達に
苦労されてる
そうですね
いままで
大量の材料を
買ってきた
わが社なのに…
メーカーは
なぜ供給して
くれないんや！

わが社と
メーカーとは
切っても切れない
関係があるもの
ですから――
北海さん！
少し分けて
くださいよォ
いいですよ
この様に
「一夫一妻」制
が今後も続いていく。

北海鉄工所
役員会議
最近、業績
が順調です
この調子なら
借金も返せ
そうですよ
それは
よかったな


ただ…
最近失注するケースが増えてきまして…
ええ?!
失注とは…


今回は小径の鏡板と抱き合わせで他所へ発注するわ
北海さんは大径の鏡板がないからなァ
D客先
北海さん大型製品は造らへんのか?
すみません…
C製作所


そうか…プラントが大型化してきたからなぁ…
大径の鏡板の要望が日増しに強くなってきた。プレス製品だけでは競争を勝ち抜けない状況になってきた。

北海
役員会議
プラントの
大型化を
考えると
大型スピニ
ング機械を
導入せざる
を得ない！

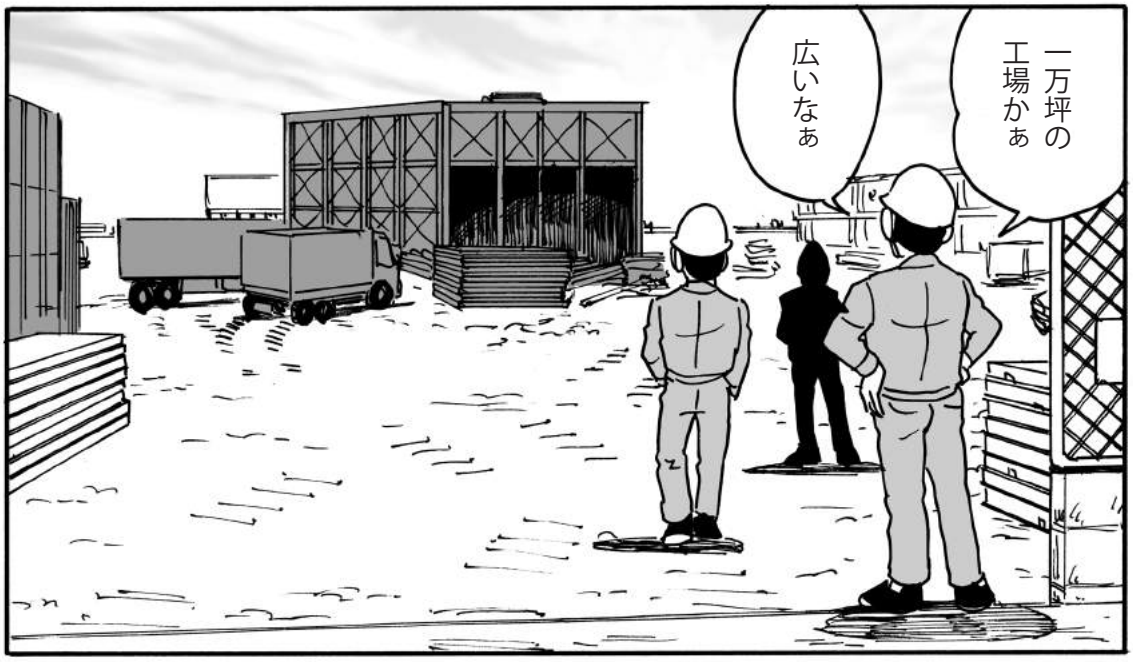
社長！
よう決断して
くれました

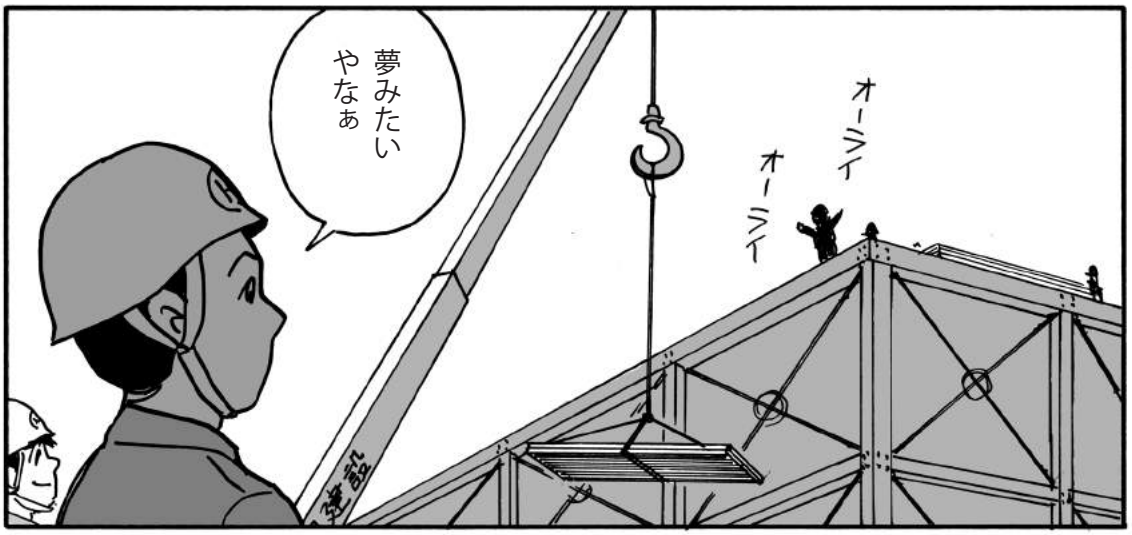
岸和田に
新工場を
建設し——
スピニング機械は
ドイツから輸入
する!!

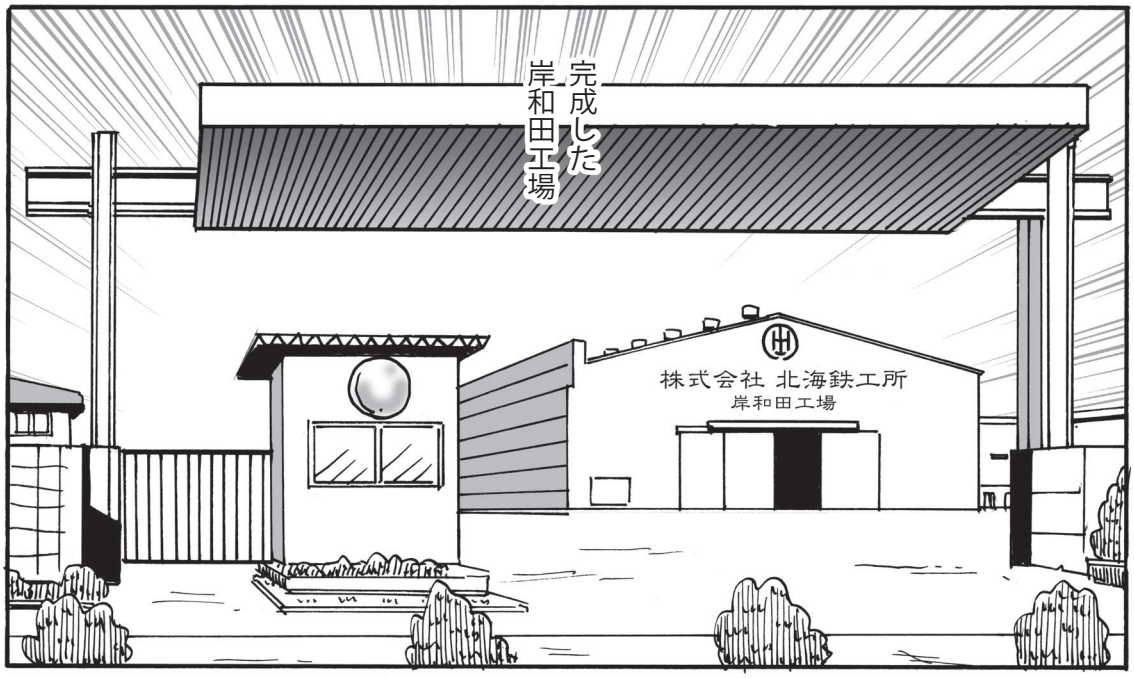
ええっ!!
爆弾発言
やなぁ
いつのまに
計画したん
やろ？

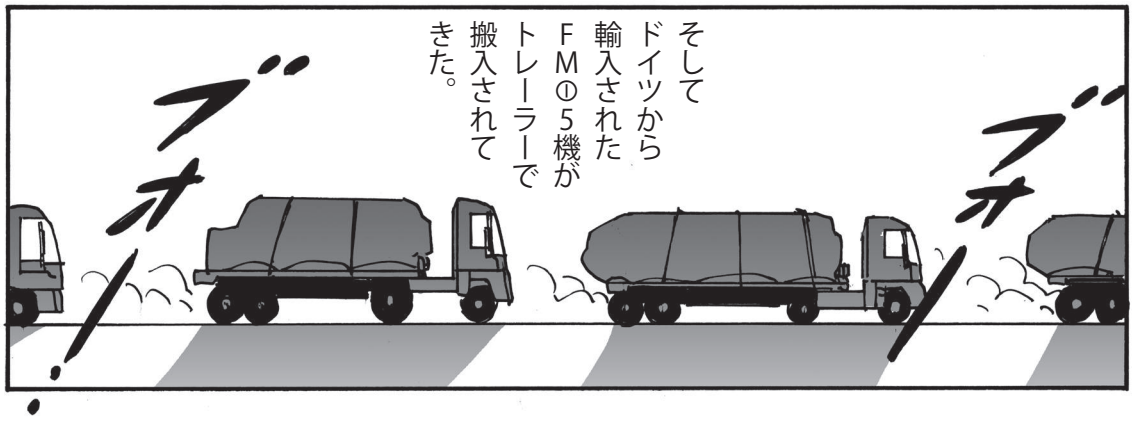
とにかく
突貫工事
やー!!

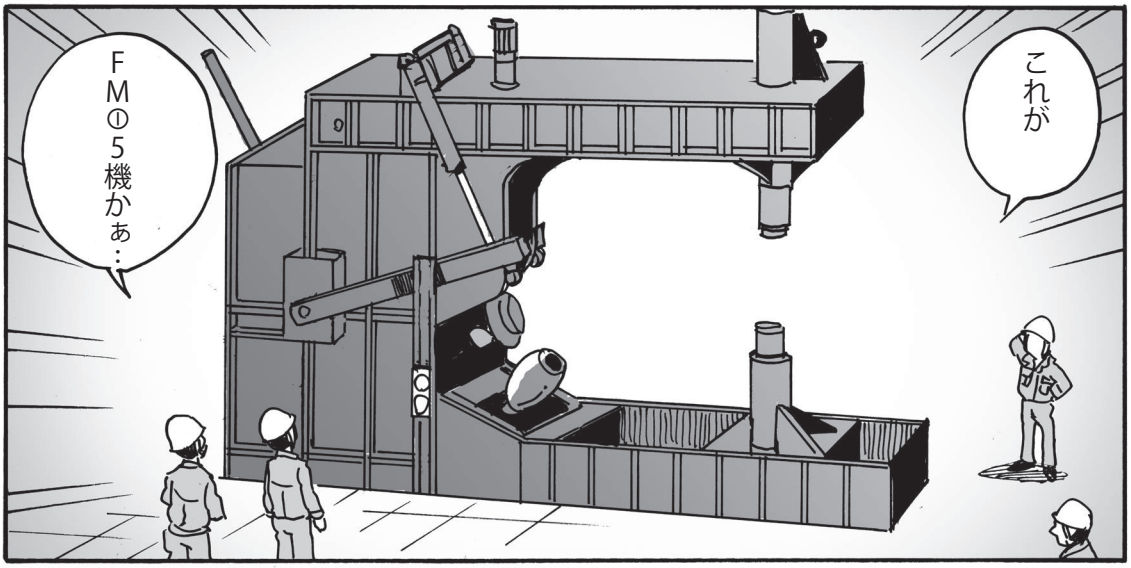
昭和43年12月
岸和田で
スピニング大型
鏡板製造工場の
建設がスタートした。






完成した
岸和田工場
株式会社 北海鉄工所
岸和田工場

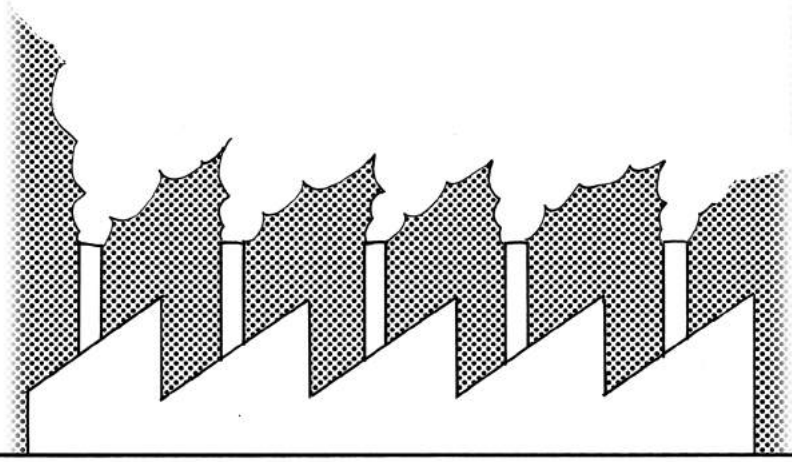

そして
ドイツから
輸入された
FM①5機が
トレーラーで
搬入されて
きた。
ブォ！
ブォ！


これが
FM①5機かぁ…

ドイツ人技術者による操作指導が続いた。
ガガ
レ
レ
要領がわかってきたで！
ソウソウエエカンジデース
ガガガ
ついにFM①5機によるスピニング製品が完成。
モウ私ガ教エルコトハアリマセ〜ン
おおきに
パチパチパチ
バンザーイ

昭和40年代、鏡板メーカーは
20数社あったが、従来の加工方法で
製作していた鏡板メーカーは、
価格・品質・納期面の競争にやぶれ、
倒産や閉鎖があいついだ。

昭和40年代の半ばになると、
日本は高度経済成長で国民は
豊かになってきた。



それとは裏腹に
バイ煙、騒音などの公害が
社会問題になってきた。

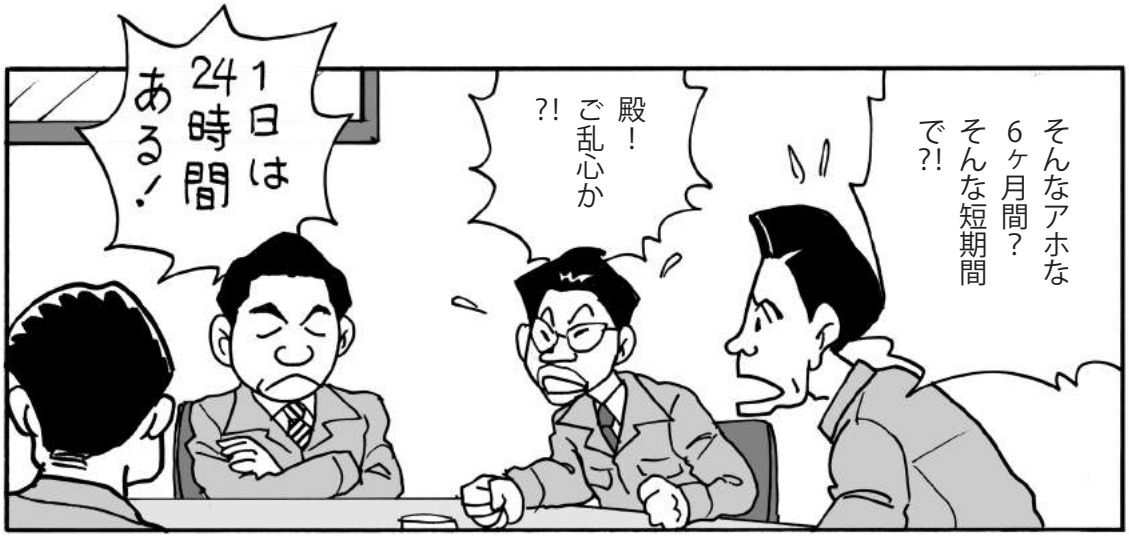
昼夜兼行で鏡板を
生産している大阪の
本社工場でも付近の
住民から騒音への
苦情が増えてきた。
ガ
ガ
ガ
ガ
ガ

昭和47年6月
北海役員会議

私は断固
決心した！
工場は
岸和田に
集約する!!
そして
営業部は
分社する！

そんな?!
また
爆弾発言
や!!
突然に
何をおっしゃる
のやら?!

工場の移転は
来年2月末
までに完了
させる!!


そんなアホな
6ヶ月間？
そんな短期間
で?!
殿！
ご乱心か
?!
1日は
24時間
ある！

しかし社長！
移転のため
鏡板の生産を
中止すれば
お客様に
ご迷惑が
かかります！

これから連日
24時間体制で
大量の在庫品を
生産するぞ！
なせば成る!!

工場移転計画の
社内発表
ええっ！
岸和田に?!
半年
でか?!
びっくりした
なーもー
ザワ
ザワ
ザワ

その日から生産現場はフル生産で忙殺された。
お客様に迷惑をかけられない！
頑張ってくれ！
ガ
ガ
ガ
ガ
一方で工場移転作業も急ピッチ！
どけどけ
早う積みこめや！
新工場には次々と機械が据付けられていった。
突貫工事や！
2月に完成やで!!
ドガン
ドガン
ガン
ガン

昭和48年2月――

やったぞ
無事移転は
完了だ…

人間には
無限の力が
あるものやな！

株式会社 北海鉄工所

株式会社 北海鉄工所
岸和田工場

昭和56年　○月○日

新聞

ハレー彗星
76年に1度近づく

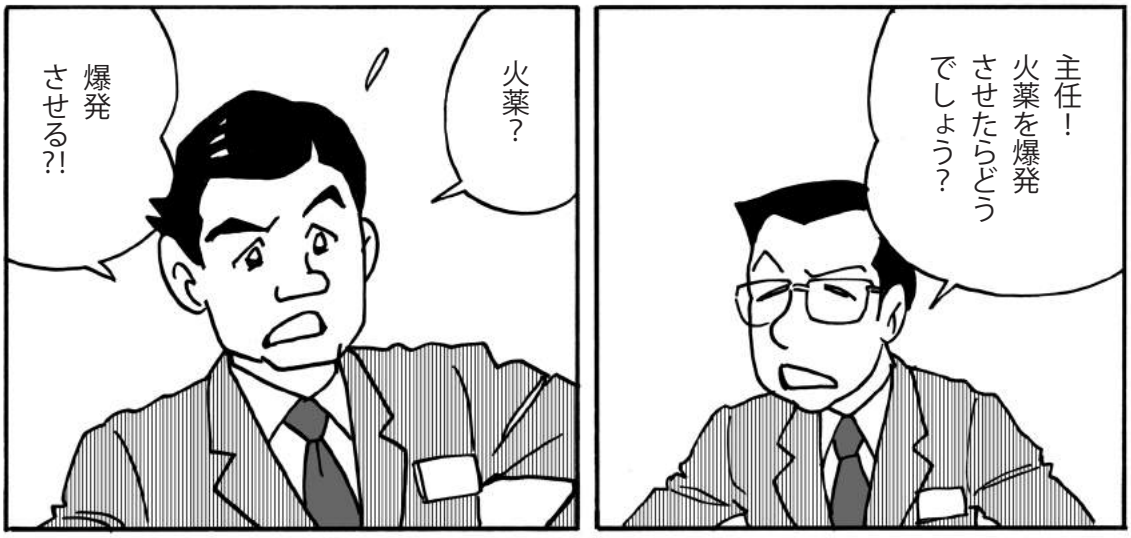
各国探査ロケット
打ち上げ競争激化

宇宙開発事業団開発室

う～ん
アメリカは
液体燃料で
打ち上げるのか…

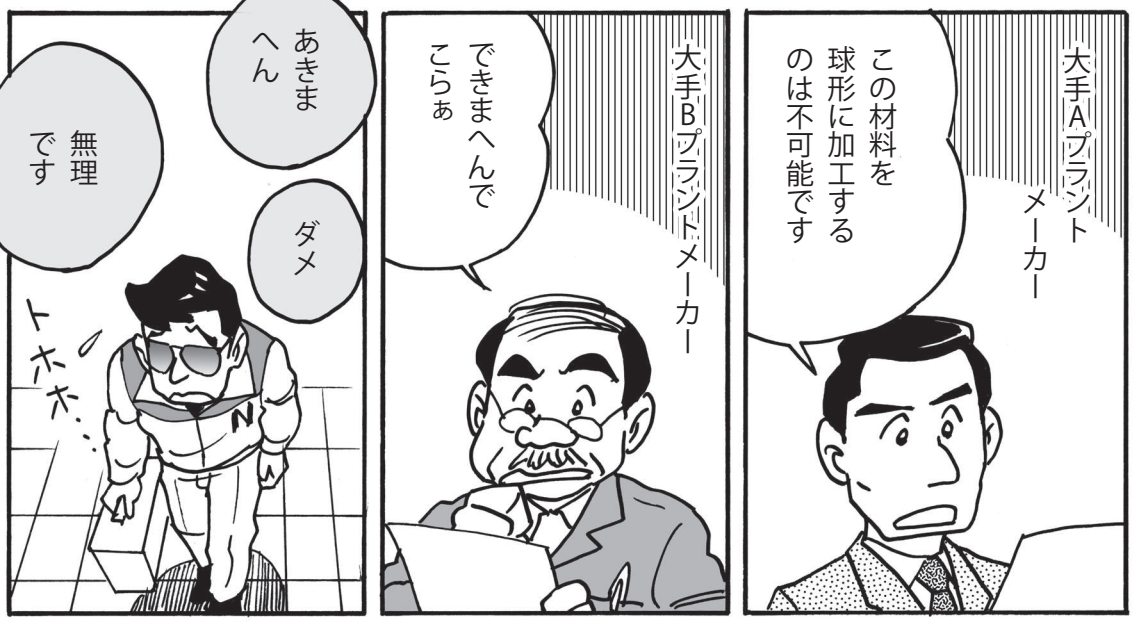
日本はもっと
強力な力を出せる燃料を使いたいのだが…

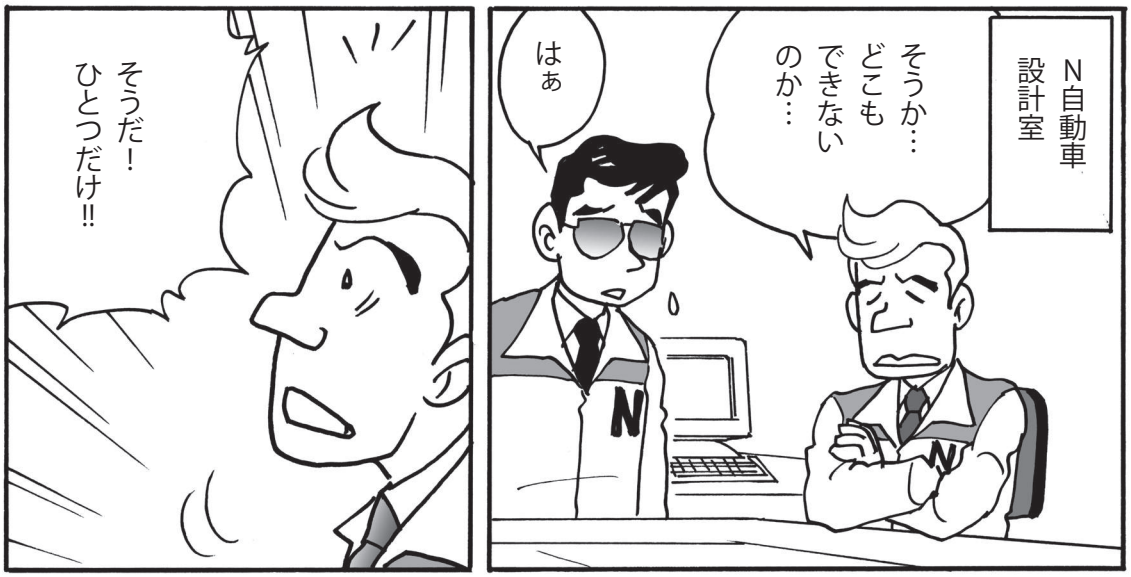
ハレー彗星

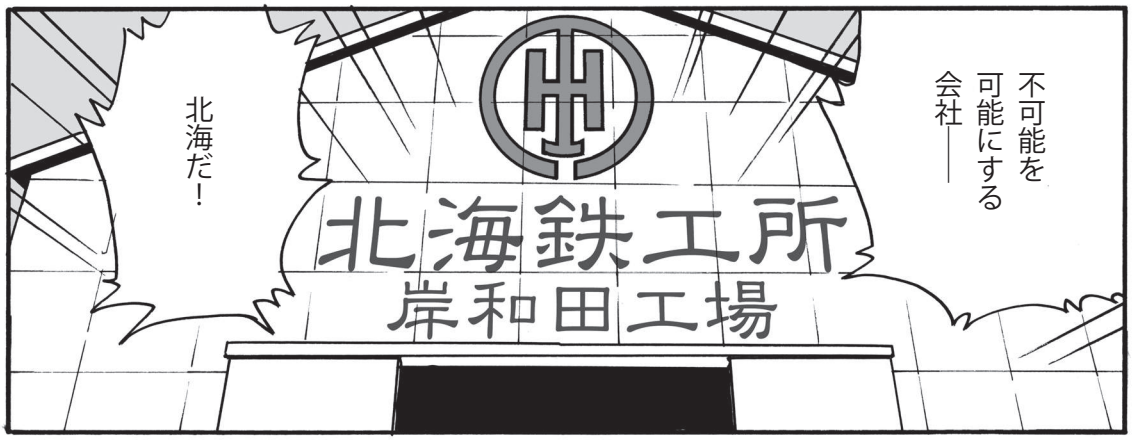

主任！
火薬を爆発
させたらどう
でしょう？
火薬？
爆発
させる?!

ハレー彗星探査ロケットの
燃料タンク設計はN自動車の
設計室に任されていた。
この強大な爆発
力に耐えられる
燃料タンクが
できるだろうか
問題は
タンクに使う
材料だ
鉄の5倍の
強度をもつ
6アルミ4バナ
ジウムチタン
なら可能
では？
しかし、この
難しい材料で
半球形の鏡板が
造れるのか？

大手プラントメーカー
なら可能だろう
手分けして
当たってくれ
ハイ
N
N


大手Aプラントメーカー
この材料を球形に加工するのは不可能です
大手Bプラントメーカー
できまへんでこらぁ
あきまへん
ダメ
無理です
トホホ…

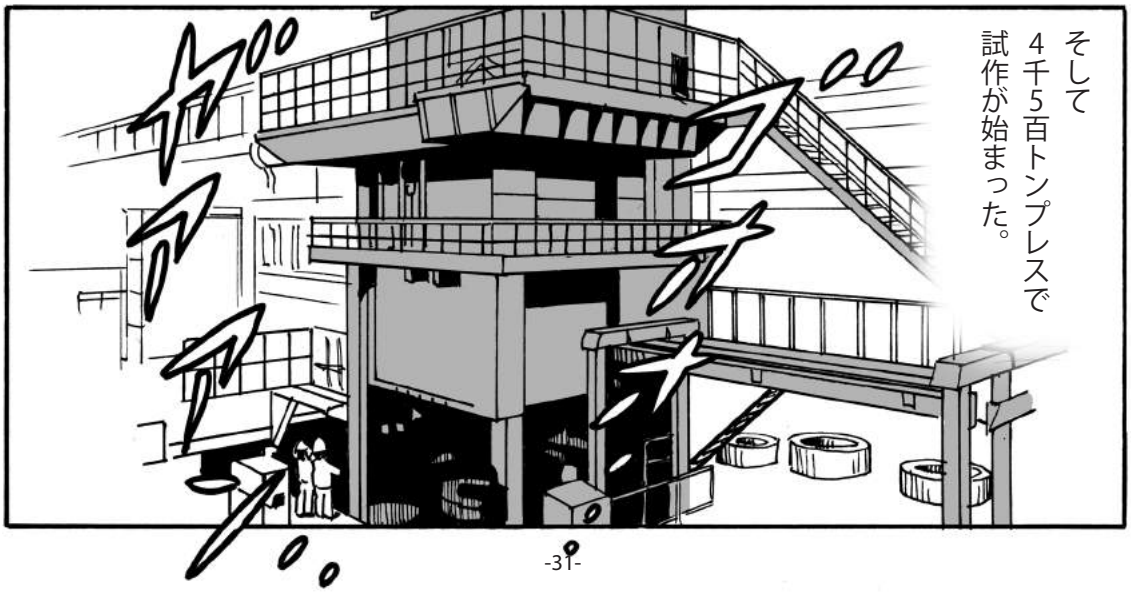

N自動車設計室
そうか…どこもできないのか…
はぁ
そうだ！ひとつだけ!!

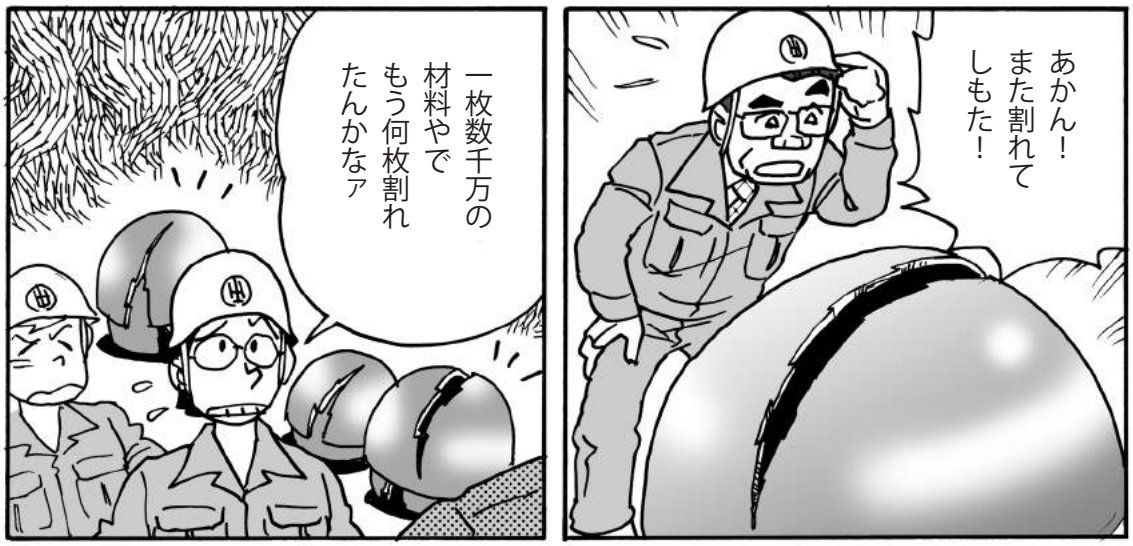

不可能を可能にする会社――
北海だ！
北海鉄工所
岸和田工場

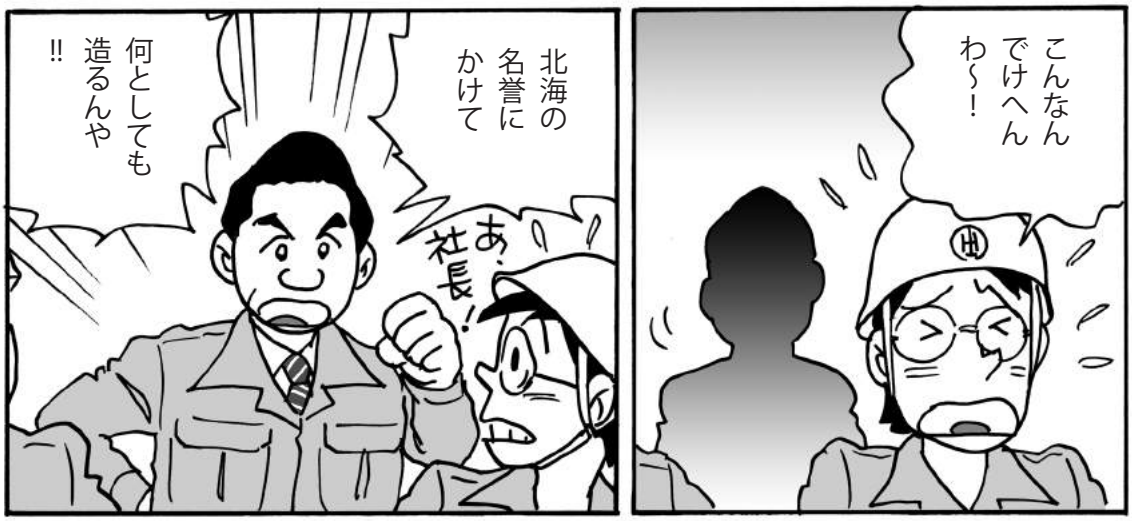
無理
でんな
せっかく
ですけど
北海鉄工所
技術責任者

そこを何とか！
お願いします！
わが国の
威信がかかって
います!!

そこまで
言われるなら
やってみます
けどー
保証は
できまへんで

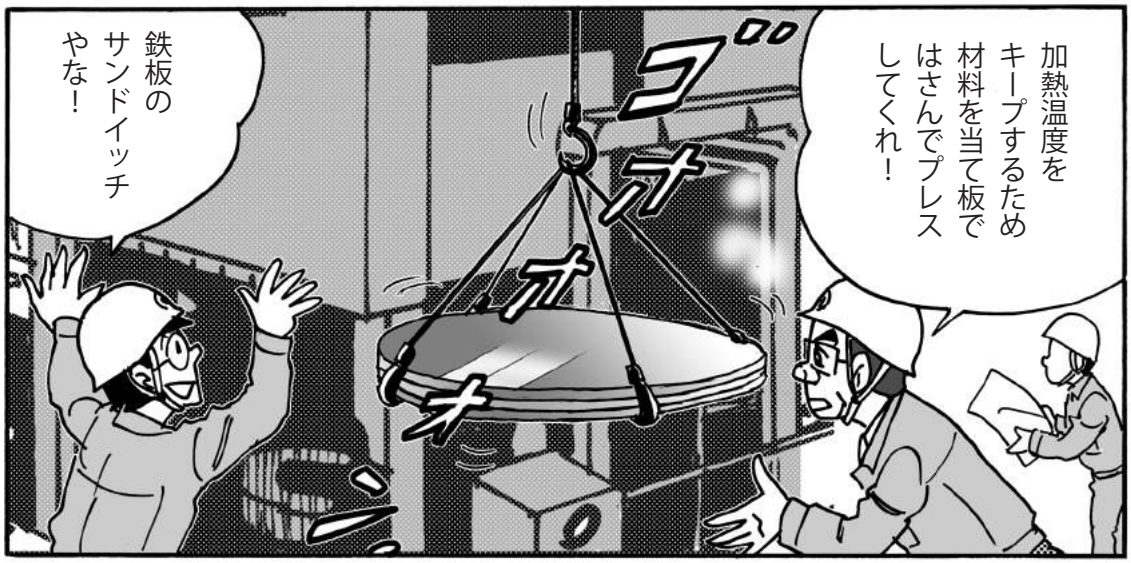

そして
4千5百トンプレスで
試作が始まった。


あかん！
また割れて
しもた！
一枚数千万の
材料やで
もう何枚割れ
たんかなァ

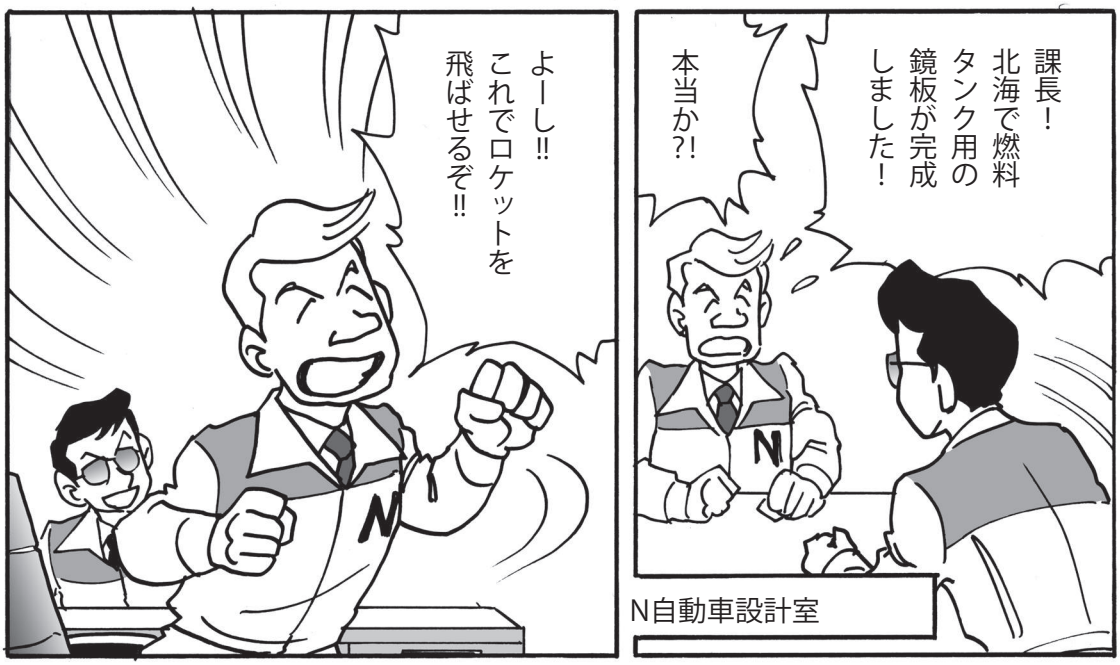

こんなん
でけへん
わ～！
北海の
名誉に
かけて
何としても
造るんや
!!
あ！社長！

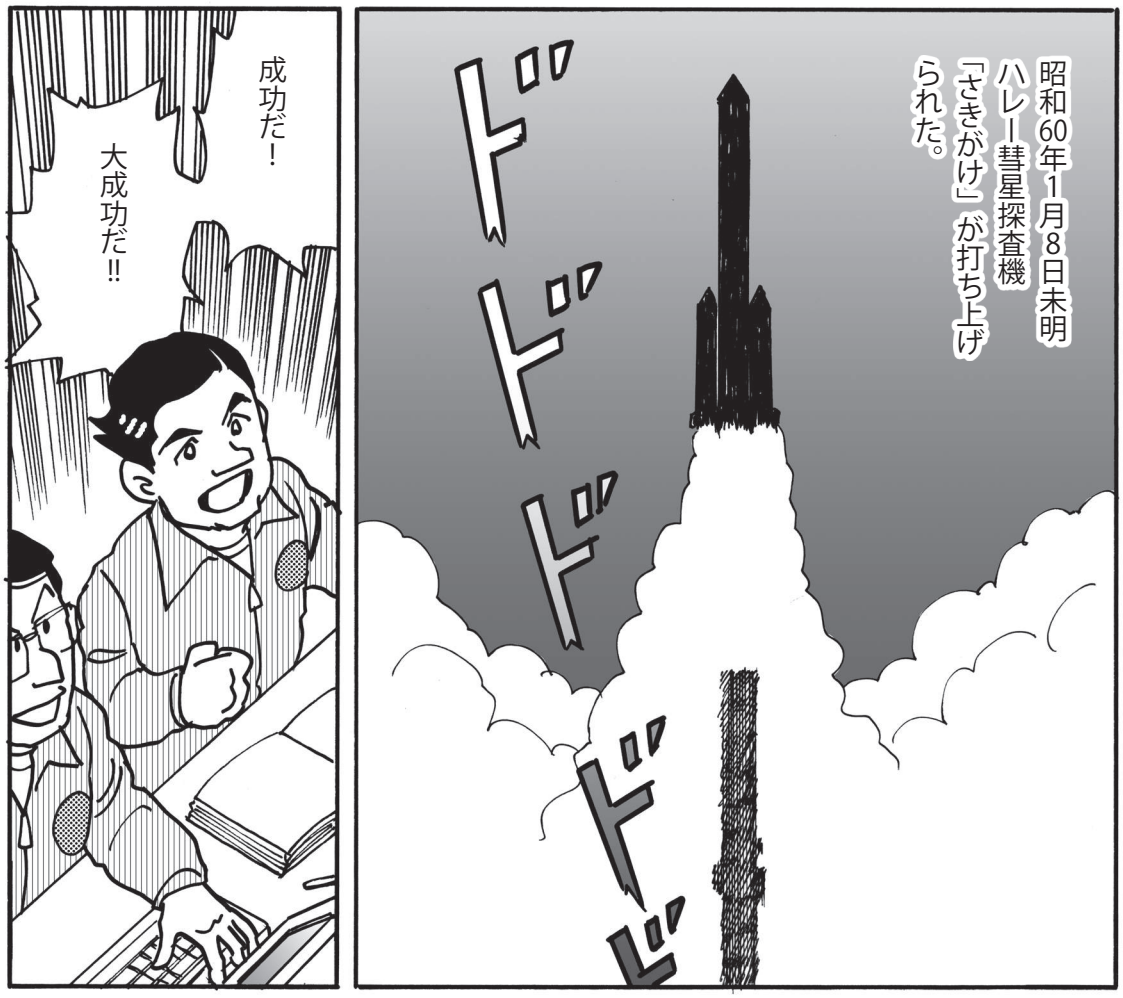
N自動車と
北海との合同
会議
つまり
原因はー
あーでも
ない、
こーでも
ない
あれが
こーなって
それで！
どーも
こーも
!!

割れの原因は
加熱した材料の
温度が
加工に入るまで
均等にキープ
できないから
かなぁ…？
そう！
それや！


加熱温度を
キープするため
材料を当て板で
はさんでプレス
してくれ！
鉄板の
サンドイッチ
やな！

できた!!
割れて
ないぞ!!
やった


課長！
北海で燃料
タンク用の
鏡板が完成
しました！
本当か?!
N自動車設計室
よーし!!
これでロケットを
飛ばせるぞ!!


昭和60年1月8日未明
ハレー彗星探査機
「さきがけ」が打ち上げ
られた。
ドドドドドドドド
成功だ！
大成功だ!!

日本が
ハレー彗星探査機
成功
宇宙開発事業団から
北海に感謝状が
渡された。
北海さんのおかげで
日本の宇宙開発
技術が進歩しま
した
これほど
光栄なことは
ありません

昭和47年
㈱北海製作所設立
㈱北海設立

昭和56年
㈱関西ステンレスセンター
譲受け

昭和61年
東京都
鉄工溶接事業
協同組合再建

平成元年
㈱北海を
北海関東など
5社に
分社など

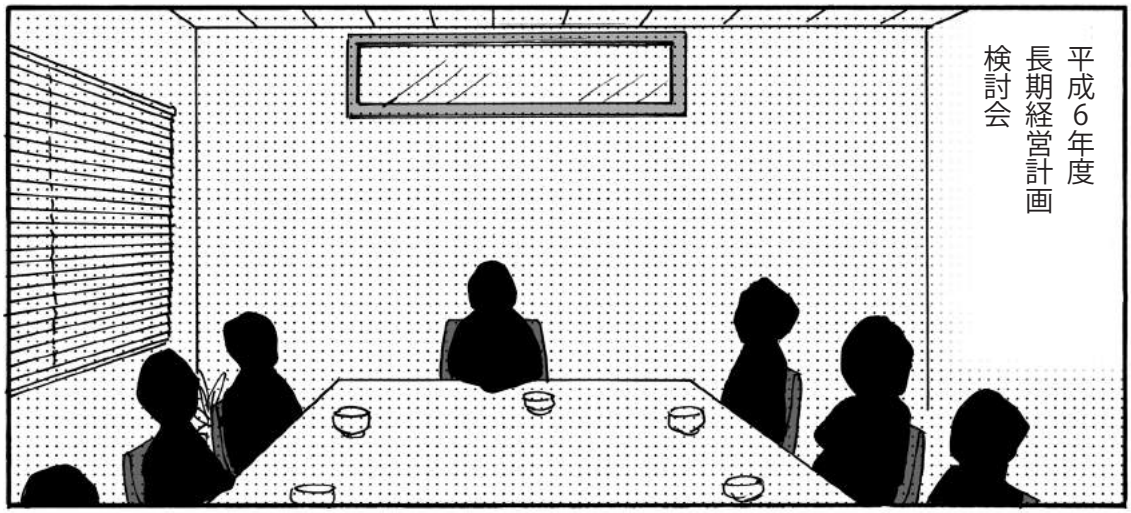
林社長の先見性と
勇断を持った経営
政策が果敢に実行
に移された

平成6年

経済新聞
中国社会主義
市場経済に転換！

ついに中国が
動き始めたか
…！

林社長


平成6年度
長期経営計画
検討会

永い間構想を
温めてきたが
今こそ中国へ
進出する時が
来た！

まず
現地調査や！
手分けしてすぐ
中国へ飛んでくれ！

そんな、
急に言わ
れても…
わしゃ中国は
全然知りません
で！

何を
ごちゃごちゃ
言うとん
のや！
えぇっ?!
ど〜ん

中国現地調査に旅立った
北海の調査員たちは
各地の工場を視察したが
合弁に適した会社は
なかなか見つからなかった。

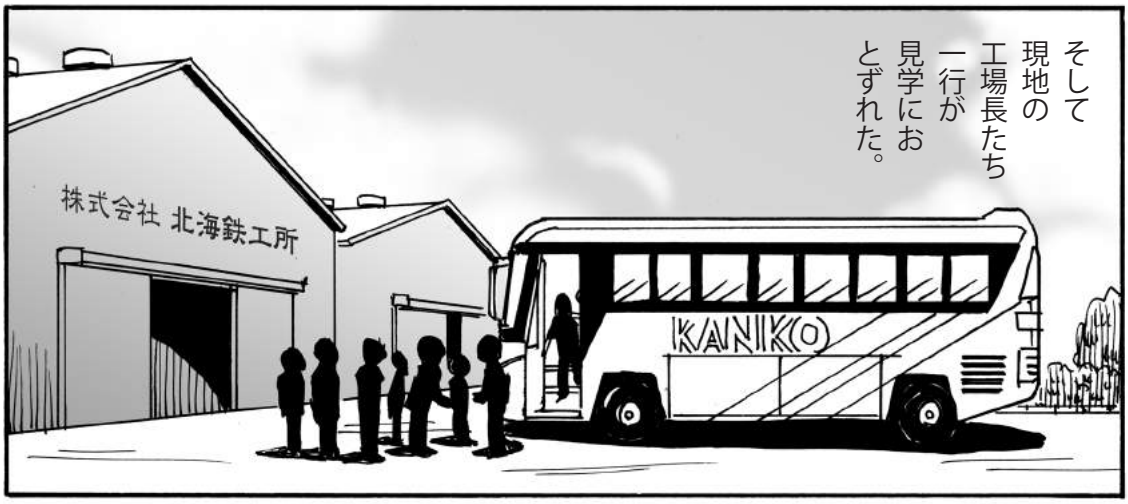
宜興(イーシン)市にも
鏡板工場が
あるそうです
が…
ま
行ってみよ
か…

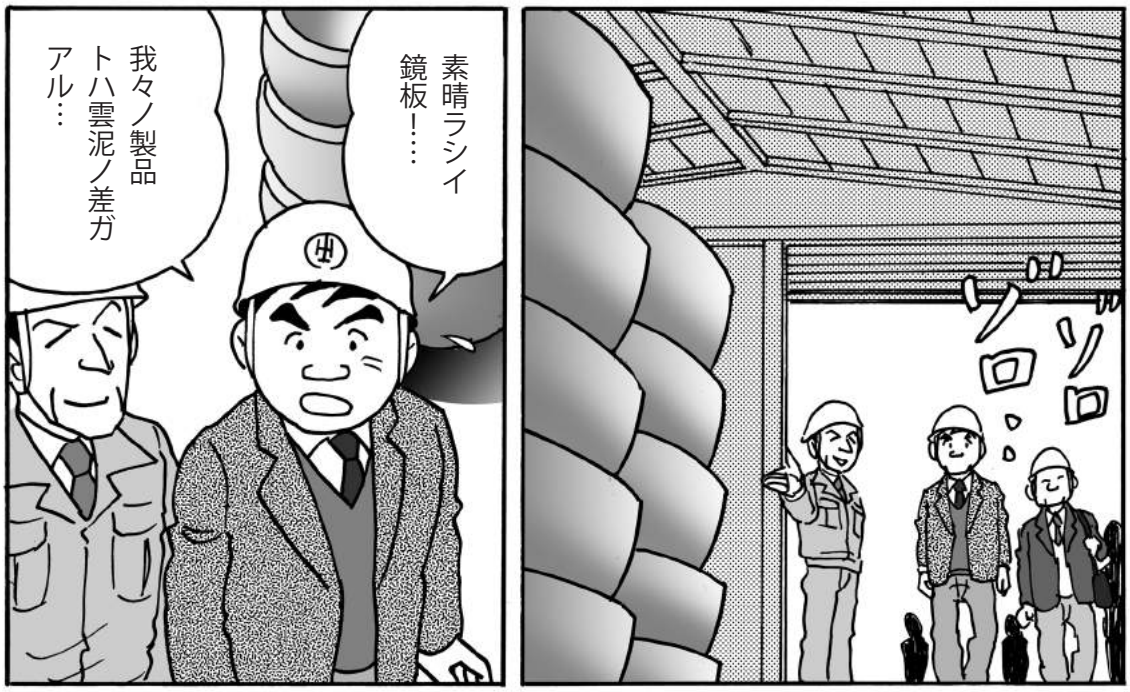
私タチハ
コンナ素晴ラシイ
鏡板ヲ造ッテ
イマス

……

工場長、
こりゃ北海では
スクラップだよ
ソレハヒドイ!
中国ノ一流品
デスヨ!
話にならんな
北海の鏡板を
見たら一目で
わかるよ
株式会社 北海鉄工所
岸和田工場
調査員らが
帰国した後―
北海鉄工所の通訳に
突然中国の工場から
電話が入った。

えっ?!
北海を訪問
するために
来日するん
ですか?!
中国室通訳


そして
現地の
工場長たち
一行が
見学にお
とずれた。
株式会社 北海鉄工所
KANIKO


素晴ラシイ
鏡板!…
我々ノ製品
トハ雲泥ノ差ガ
アル…
ゾロゾロ

北海の会議室
にて来日した
中国人たちとの
会談が持たれた。

ゼヒ宜興ニ
進出シテク
ダサイ
宜興市副市長

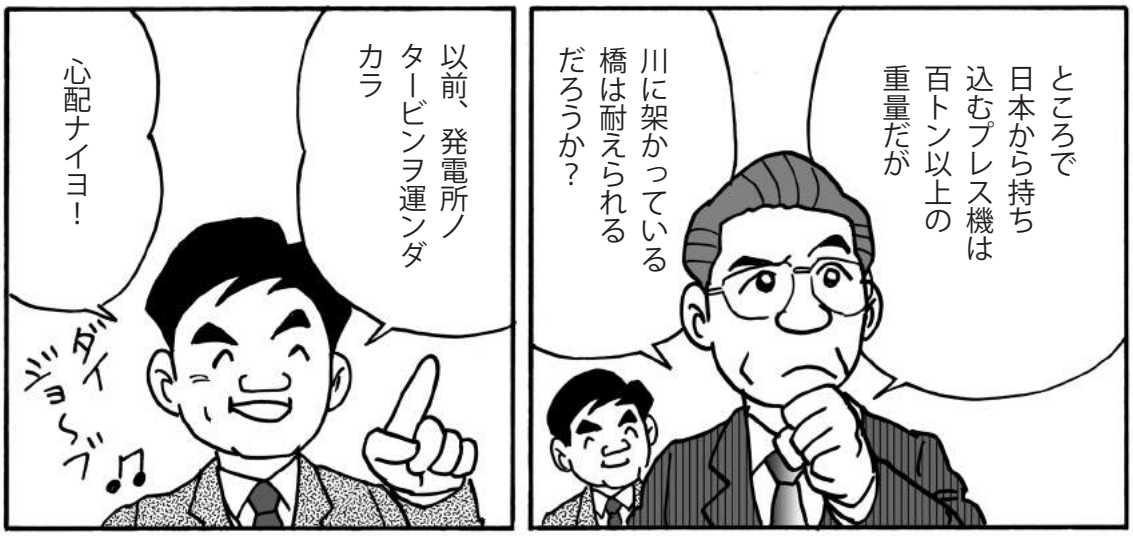
よく検討して
お返事します

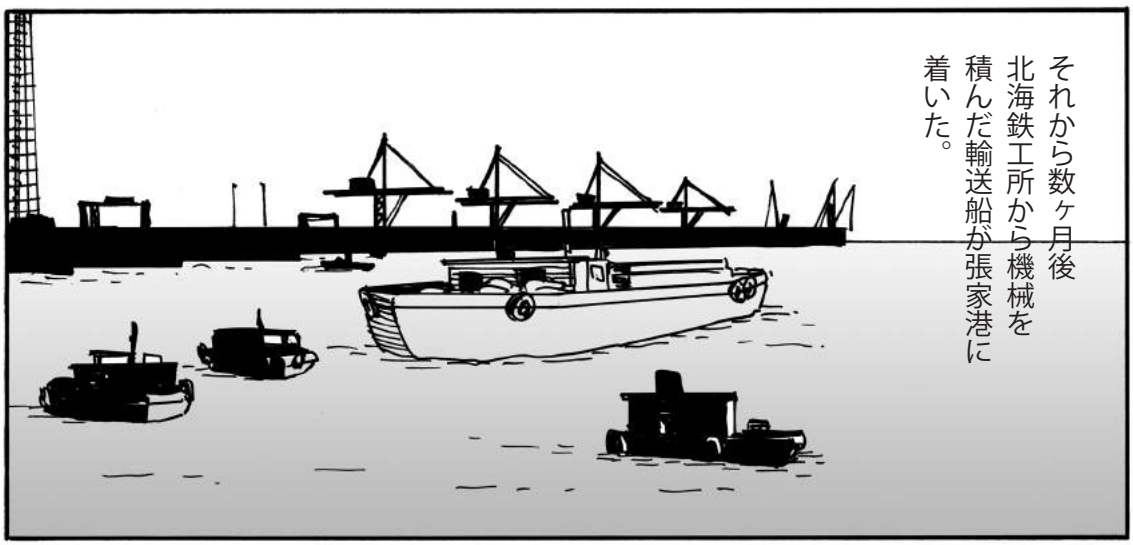
数日後——
社長、
先方の
会社の
財務資料等
調査書を
作成しました

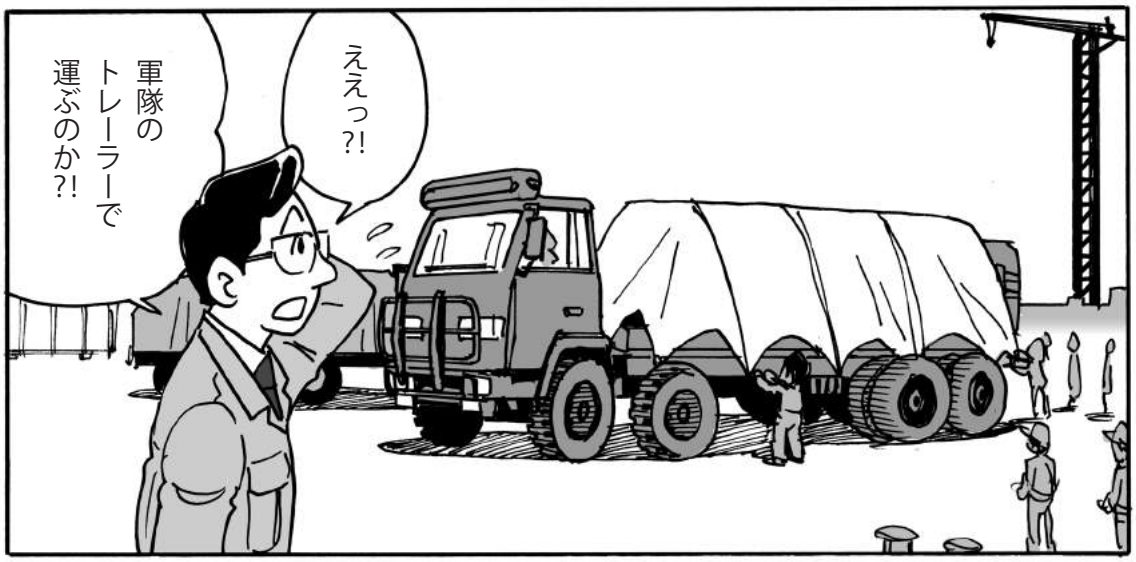
ともかく
現地へ行って
合弁できる
かどうか
実地検証が
必要だ

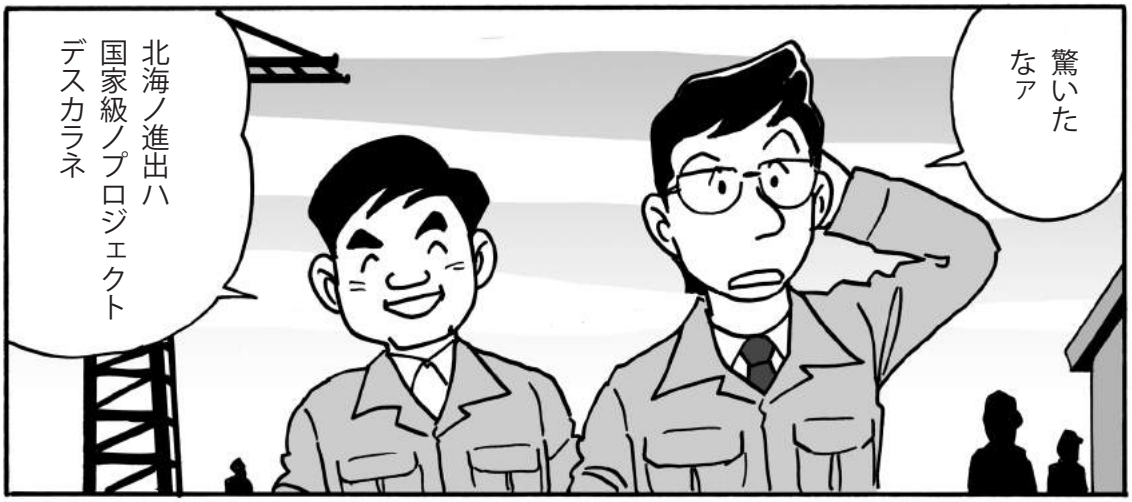
早速、林社長他
北海の役員達は上海へ飛んだ。
グ
オ
オ
オ・
一行は宜興市市長を始め
熱烈な歓迎を受けた。
熱烈欢迎
そして
続いての
日中会談
では議論が
白熱し
喧々諤々、激しい
意見のやりとりが
行われた。

こんな条件では合弁できない！
チョット待ッテクダサイ
調整シマスカラ…
会議は深夜まで続いた…
分カリマシタ…北海ノ条件ヲ飲ミマスカラ、契約シテクダサイ
ハイ…
そして両者の間に合弁契約が結ばれた。
会社の名称は「中日合資宜興北海封頭有限公司」とし、略称はＹＨＣと決まった。


ところで
日本から持ち
込むプレス機は
百トン以上の
重量だが
川に架かっている
橋は耐えられる
だろうか？
以前、発電所ノ
タービンヲ運ンダ
カラ
心配ナイヨ！
ダイジョーブ♪

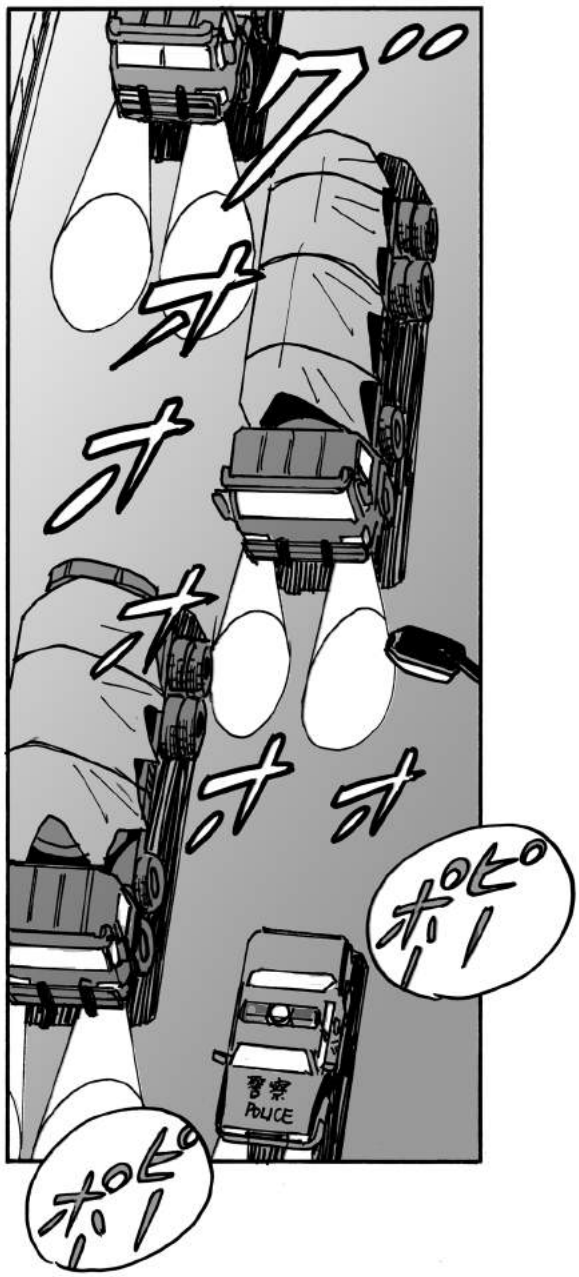

それから数ヶ月後
北海鉄工所から機械を
積んだ輸送船が張家港に
着いた。


ええっ?!
軍隊の
トレーラーで
運ぶのか?!


驚いたなァ
北海ノ進出ハ国家級ノプロジェクトデスカラネ

何ダ?!コンナ夜中ニ?!
戦争デモ始マルノカ?!

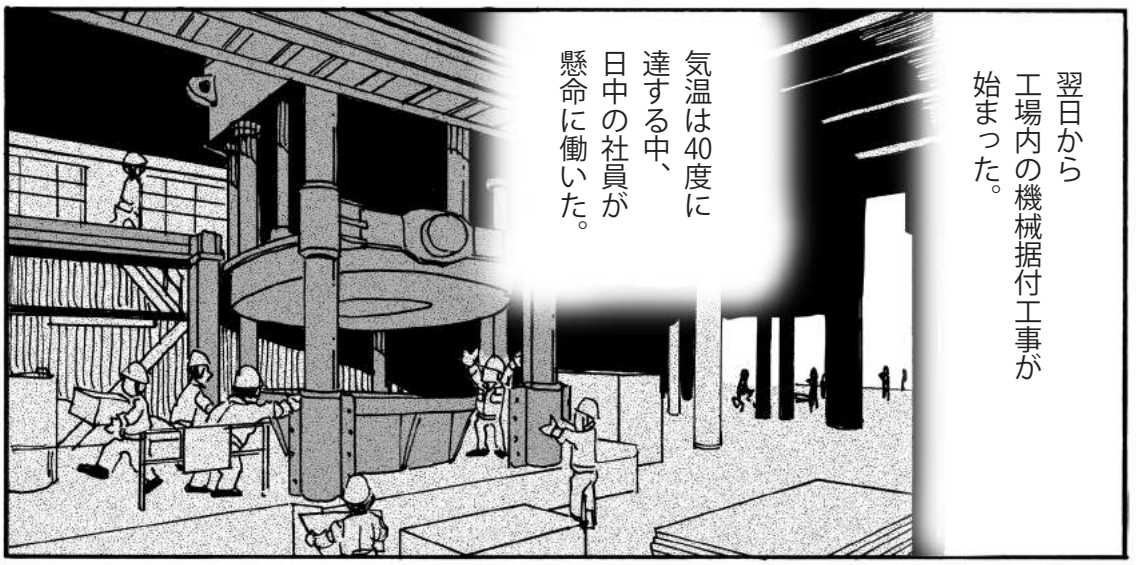
中日合資宜興北


ポピー
ポピー
警察
POLICE

その頃――
日本の林社長
の自宅では――
宜興の事が
心配で眠れない
林社長だった。
あのレンガ造りの
橋を無事に渡れるん
やろか…
心配やなぁ…
明け方になって――
プルルルル
チュン!
もしもし
あぁ、現地の
キミか!

社長！
機械が無事
到着しました！
こちらでは
爆竹を鳴らして
大喜びしてます!!
パン
パン
パン
パン

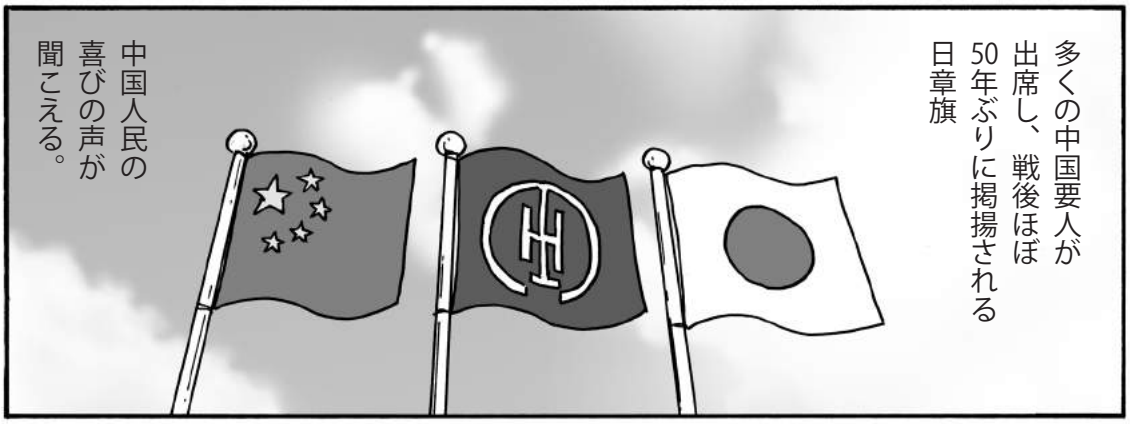
ああ
よかった
これで
ひと安心
祝杯やな
安心
したら
急に眠たく
なったよ…
ふあ～


翌日から
工場内の機械据付工事が
始まった。
気温は40度に
達する中、
日中の社員が
懸命に働いた。

ふぅー
暑いなぁー
！
中国一ノ
工場ヲ作ル
タメ頑張リ
マショウ！
合弁先工場の在庫倉庫を
視察する林社長
この鏡板は
全部スクラップに
しなさい！
トンデモ
ナイ！
コレハ立派ナ
商品デスヨ！
あかん
あかん！
こんな物を
宜興北海の
鏡板として
売れるか！

トホホ…
2百トンヲ越エル
製品ガスクラップ
トハ…
工場長！
私たちは
「安心と信頼の
北海の鏡板」を
造るんやろ?!
ハイ！

平成7年10月
YHCの開業式が
開催された。
※その後、同公司は
合弁を解消し北海の
独資企業になった
宜兴北海封頭有限公司


多くの中国要人が
出席し、戦後ほぼ
50年ぶりに掲揚される
日章旗
中国人民の
喜びの声が
聞こえる。

私は中国経済の発展に貢献するために
北海が培ったすべてのノウハウをＹＨＣに導入しました
独占中国鰲头
中日合资宜兴北海

热烈欢迎
パチパチパチ

「ともかく、教育・訓練が先だ！」と言う林社長の号令で、百日間の研修を行うことになった。

連日研修を受けるＹＨＣ社員たちー

5S
とは?!

品質
とは?!

5S
品質

そして工場で鏡板の試作が始まった。

ゴオオオン

高品質の鏡板を作るぞ！

社長！
大変です!!
中国の材料は
鏡板に使え
ません！
割れてしまい
ます！
何い?!

日本でも
材料の品質が
悪く、K製鉄所で
特別に材料を開発
してもらった
経緯がある。

林社長は、中国国営の
製鉄メーカーを訪ね、
品質の良い材料の開発を
要請した。
しかし、中国経済の発展は
めざましく、製鉄所は
てんてこまいの忙しさで、
どのメーカーからも良い返事は
もらえなかった。

林社長は、日本の製鉄
メーカーや鋼材の品質水準
などを視察してもらい
鋼材の品質がどれほど経済活動に
寄与するかを理解してもらう
ために

国営製鉄メーカーの責任者や
各種学会など官民の要人多数を
日本に招く事にした。

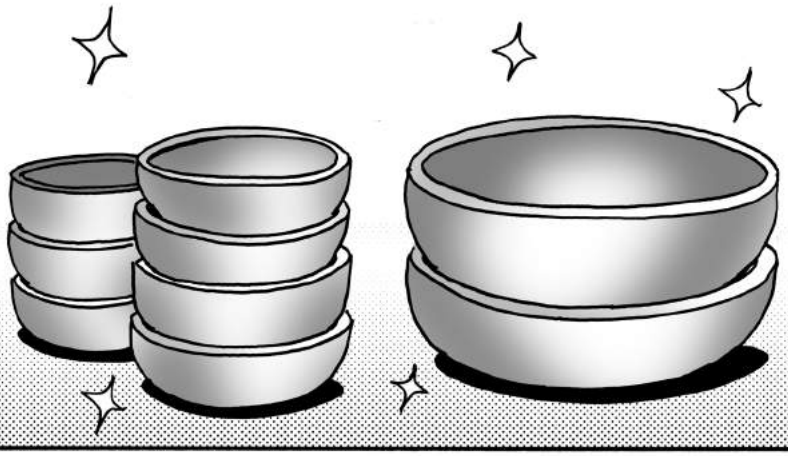
その招聘活動が効を奏し、
救う神が現れた。
上海第三鋼鉄と大原鋼鉄の
総経理である。

彼らは、これからの中国が
外貨を稼ぐためにも世界経済
のグローバル化に順応していく
ためにも、鋼材の品質の向上が
必要であると理解し、林社長の
要請を承諾した。

その後、上海や大原から
鏡板加工用の品質のよい
鋼板がＹＨＣに搬入されは
じめた。

材料の品質はよくなり
鏡板の生産が始まった。

しかし、さらに大きな
問題が横たわっていた。



林社長！

中国圧力
容器検査機関が
冷間鏡板は
焼鈍をしないと
認めないと！

そんな馬鹿な！

北海の冷間
鏡板は30数年間
一度も事故は起き
とらんのや

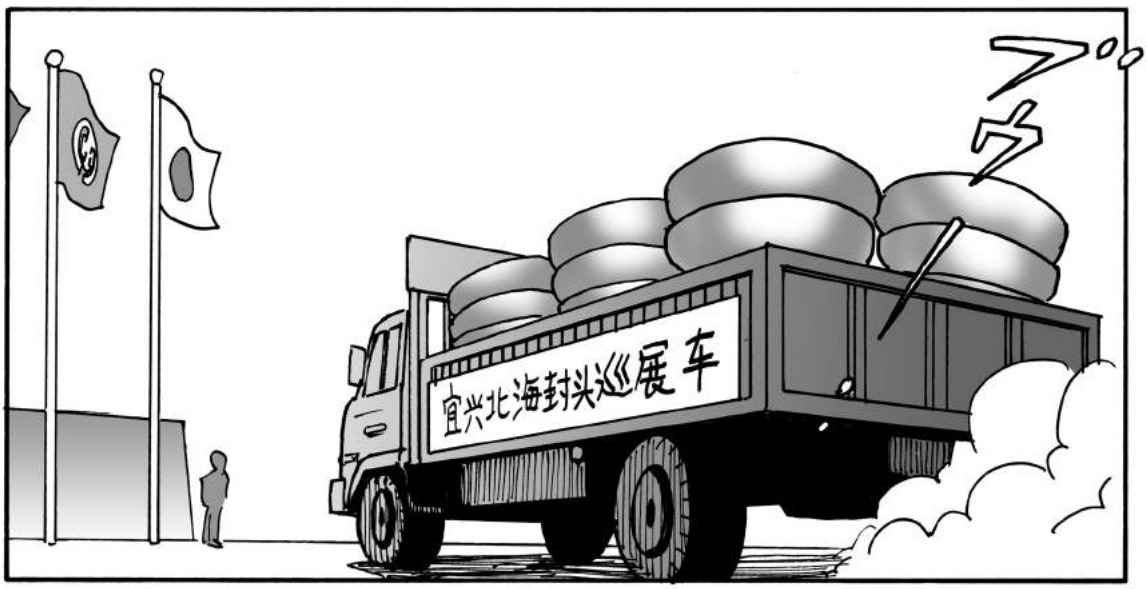
今まで中国の鋼材の
品質は加熱が必要だった。
しかしやっと冷間加工できる
材料が開発されたんや！

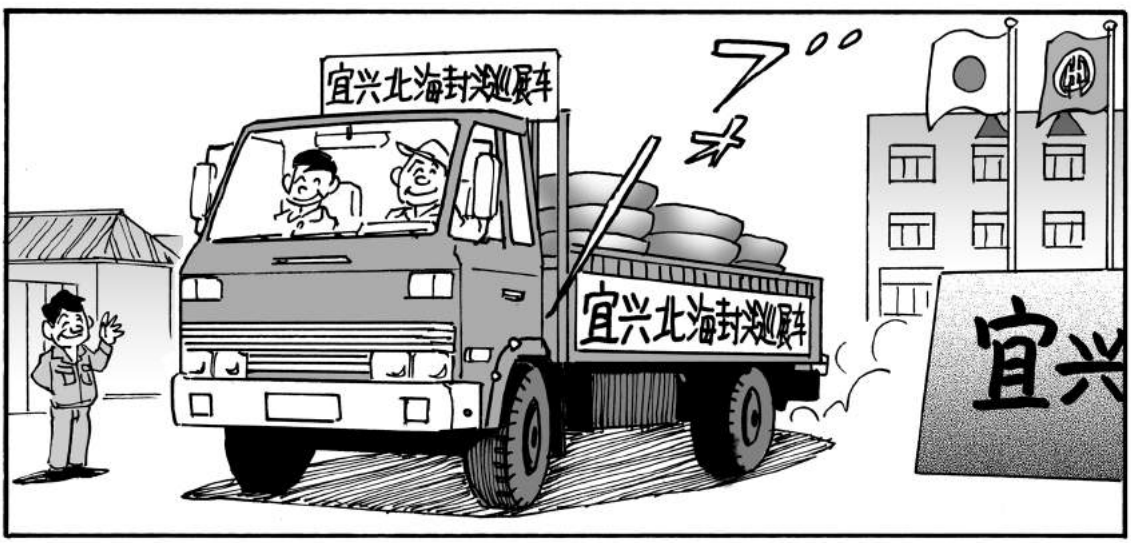
冷間鏡板の
安全性について
北海鉄工所の実績を
示して証明しましょう

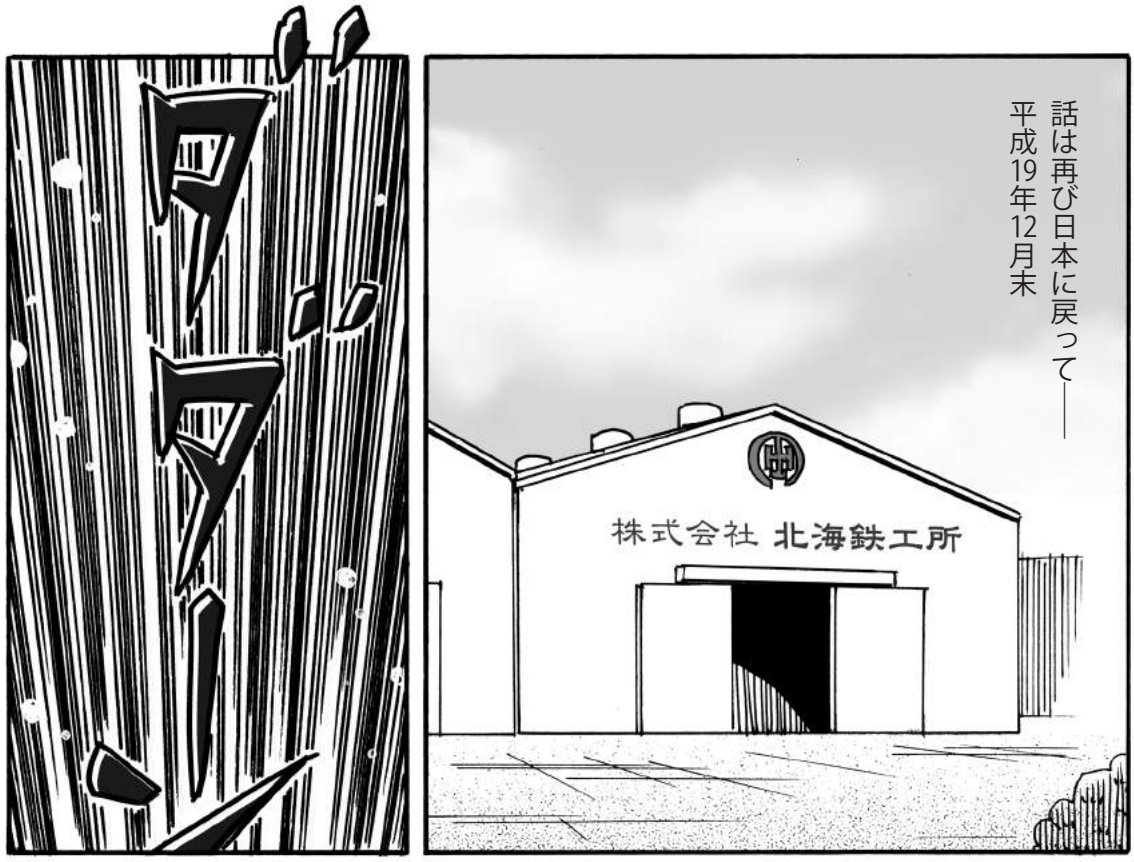
北京労働局
検査機関会議室
北海サンノ
科学的ナ
説明ハ
専門技官
ヨク分カリ
マシタ
検討シテミマ
ショウ
よろしく
お願いします
その後、
北海の実績と林社長の熱意が通じ
事態は好転した。
冷間鏡板ニ
関シテ専門家ガ
検討中デスガ
我国ノ規格
制定ニモ参画シテ
クダサイ!
喜んで
協力しま
しょう!

そして、
北海の全面的な
協力が実って中国圧力容器用鏡板の
規格（ＪＢ）が制定され

そのニュースは
「人民日報」でも
報じられた。

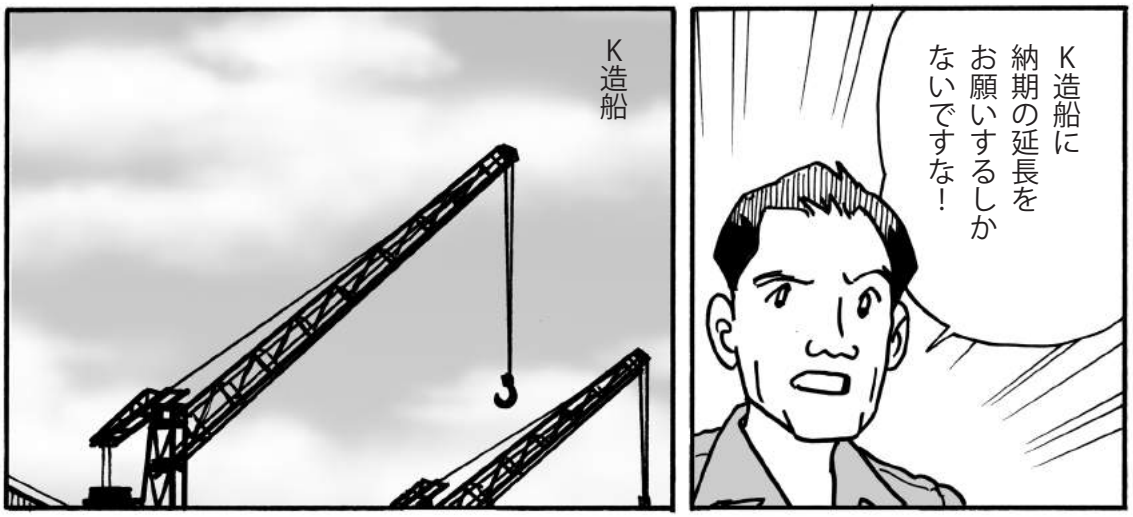





話は再び日本に戻って――
平成19年12月末
株式会社 北海鉄工所

何い?!
6千トンの
シリンダーが
破断したぁ?!
まさかと
言う破断
です
板厚297ミリで
長さ5880ミリの
鍛造製が上から下へ竹を
割った状態です
お客様に
ご迷惑はかけ
られない!
すぐ
シリンダーの新作を
発注してくれ!
ハイ!

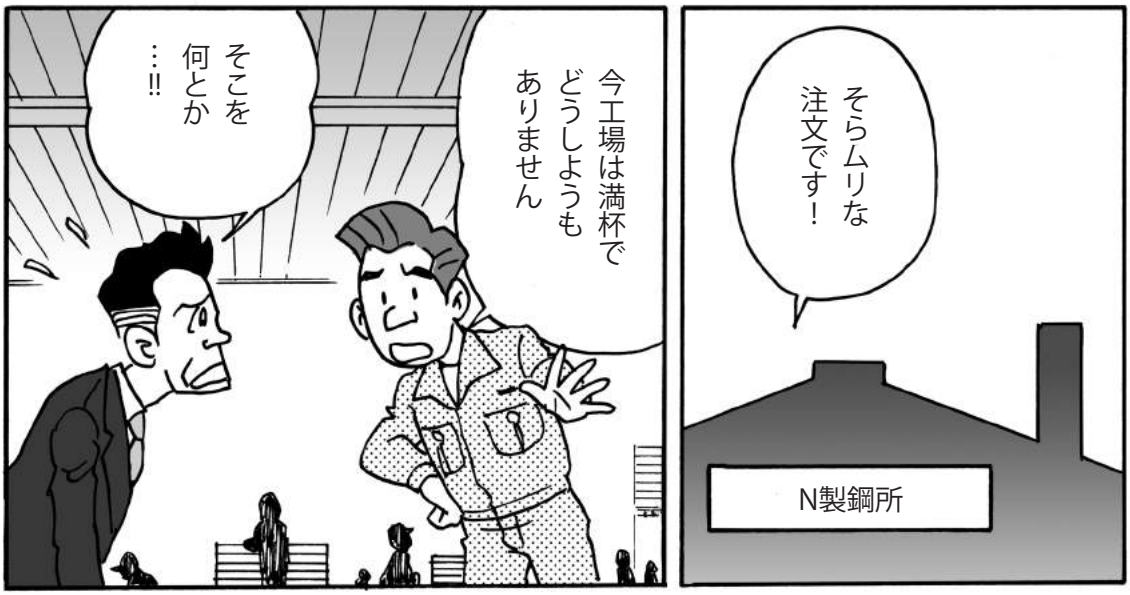
数日後の対策会議にて、
N製鋼所から
回答が来ました
納期は
1年6ヶ月後
です！
あかん！
それでは
特殊船舶の
液体燃料タンク
鏡板の納期が
間に合わん!!


K造船に
納期の延長を
お願いするしか
ないですな！
K造船

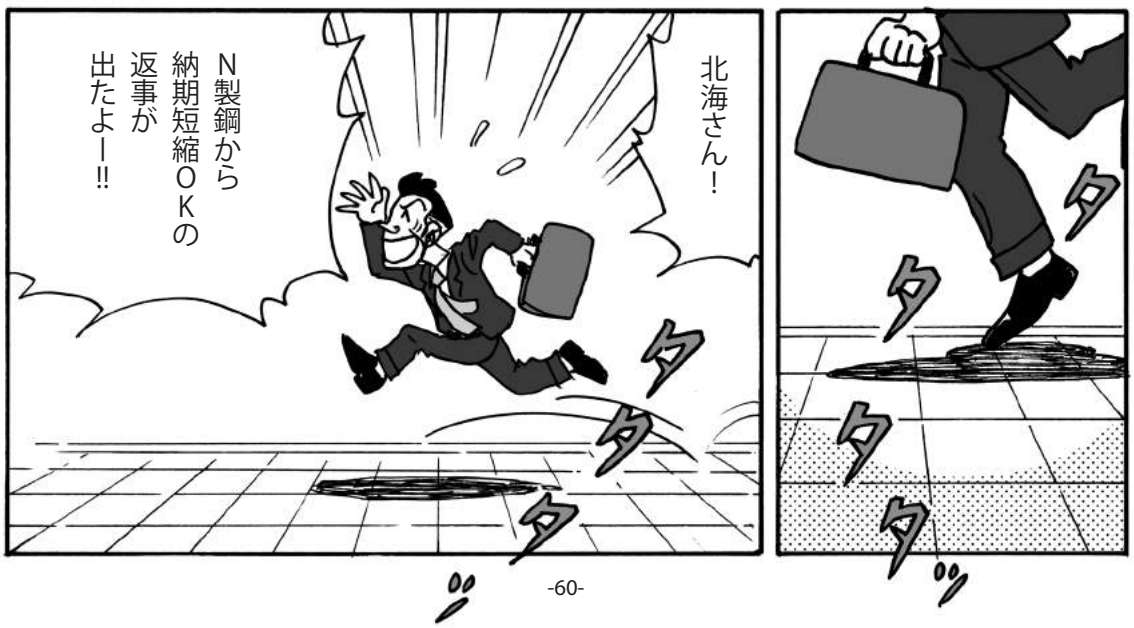
かくかく云々で
何とか納期を
延ばして
いただきたい！
困った
なぁ〜
特別なところから
受注した
特殊船舶
なんや…

進水式の予定時期を延期?!
絶対にできません!
特殊船舶オーダー会社
北海以外にも鏡板メーカーはあるでしょ!
はぁ…

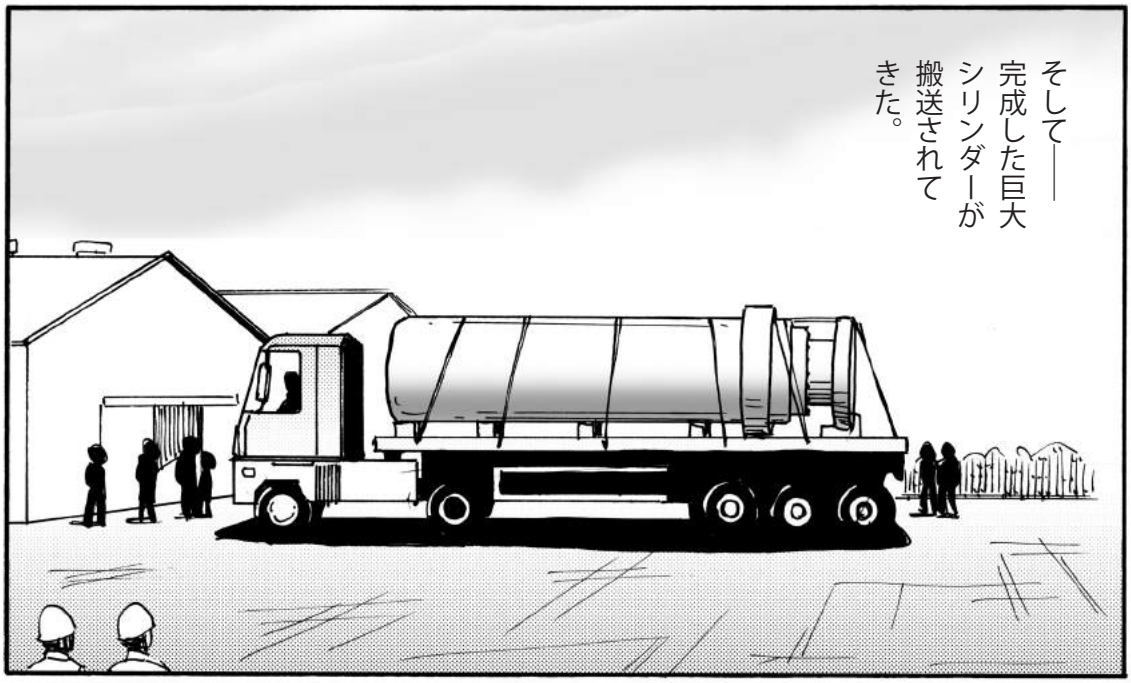
K造船資材購買部では部員総出であらゆる重機械メーカーに問い合わせた。
9%ニッケルの鏡板は出来ない?
ダメ?!
できない?!
アカン?!
どこを捜しても北海以外は
この鏡板が加工できないのか…!
残る手段はひとつ——
N製鋼にシリンダーの納期を短縮してもらうしかないがな!


そらムリな
注文です！
N製鋼所
今工場は満杯で
どうしようも
ありません
そこを
何とか
…!!

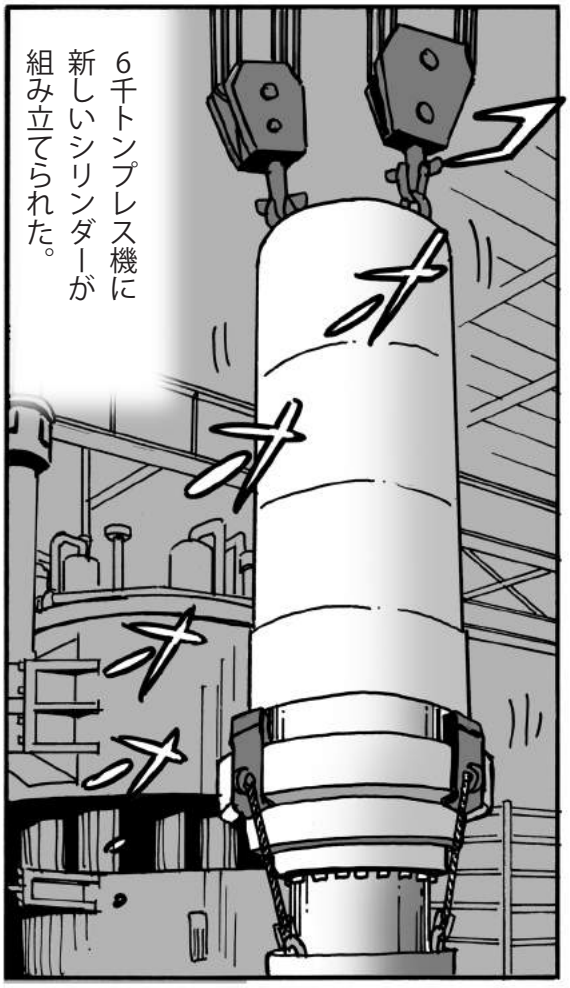
弱ったなぁ…
鏡板ができな
ければ
特殊船舶が
完成しない
のか…
うーん…
チラ…
ナニトゾ…
……


北海さん！
N製鋼から
納期短縮ＯＫの
返事が
出たよー!!
タタタタ
タタタタ

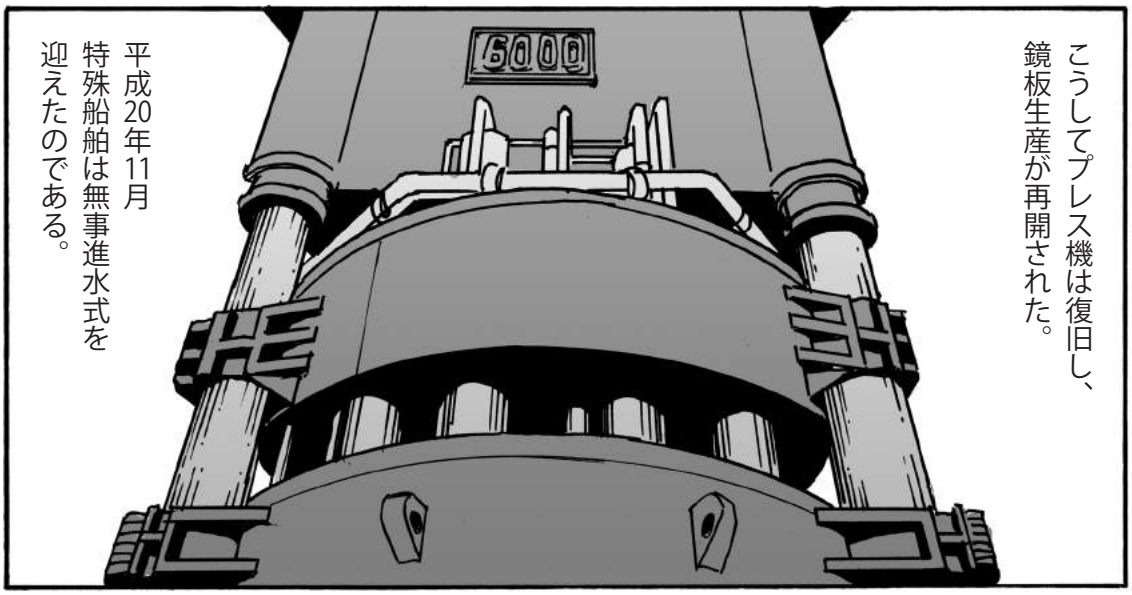
そして——
完成した巨大
シリンダーが
搬送されて
きた。

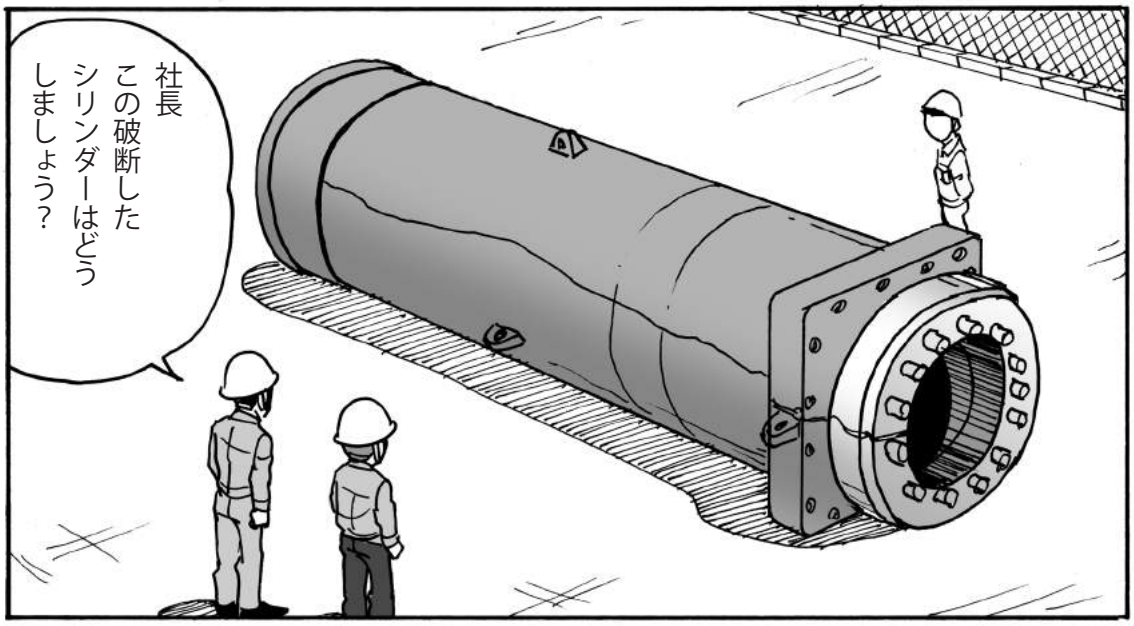


6千トンプレス機に
新しいシリンダーが
組み立てられた。



そして
安全祈願祭が
とり行われた。


こうしてプレス機は復旧し、
鏡板生産が再開された。
平成20年11月
特殊船舶は無事進水式を
迎えたのである。


社長
この破断した
シリンダーはどう
しましょう?

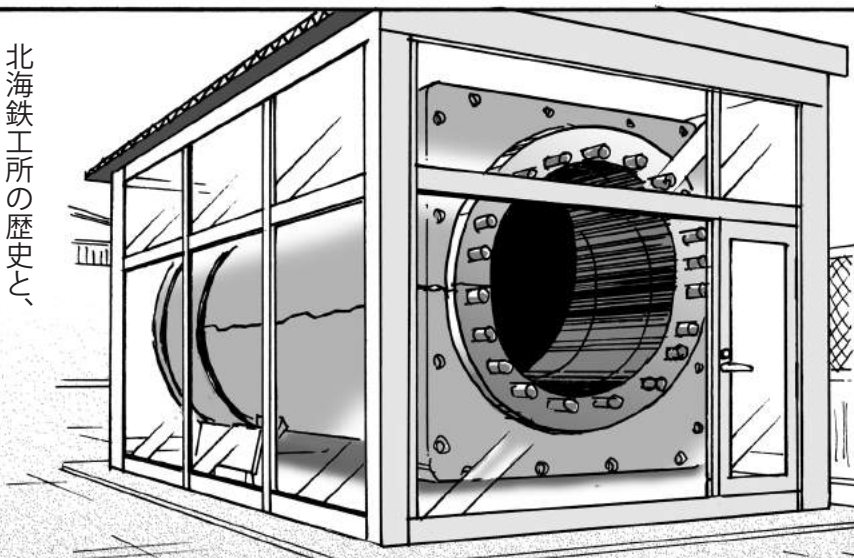
こいつは
長い年月
働いてくれた
感謝の意を
込めて、展示室を
つくってやろうか

それは名案です
プレスの記念碑に
なりますよ

いや
それればかりと
ちがうぞ

破断に至る、
小さな異常現象が
発見できてたらこの事故は
防げたかもしれん

日常点検の重要性を
知る教訓にもなる



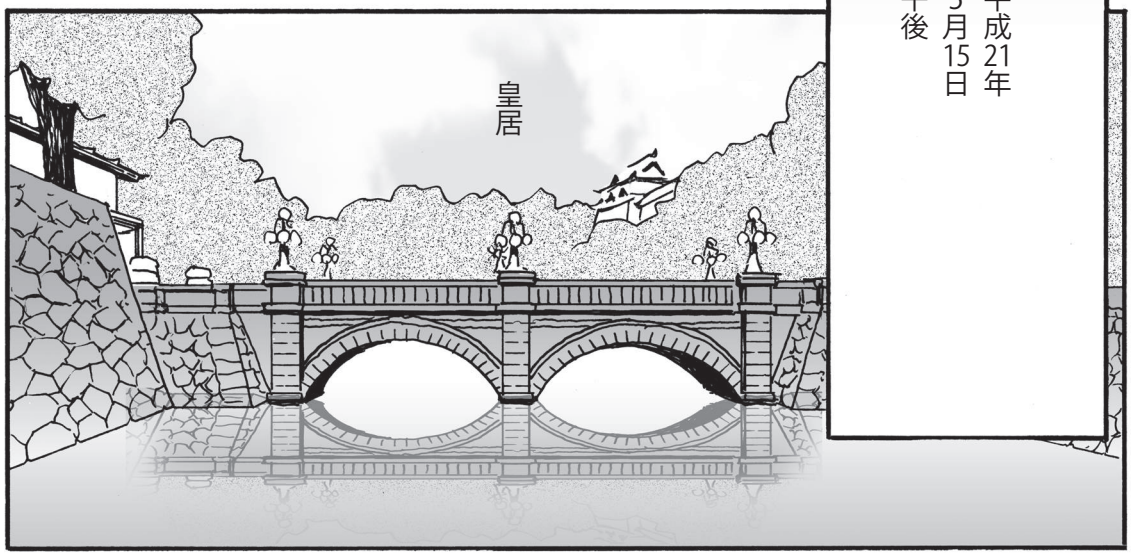
現在、このシリンダーは
展示室に収められ、

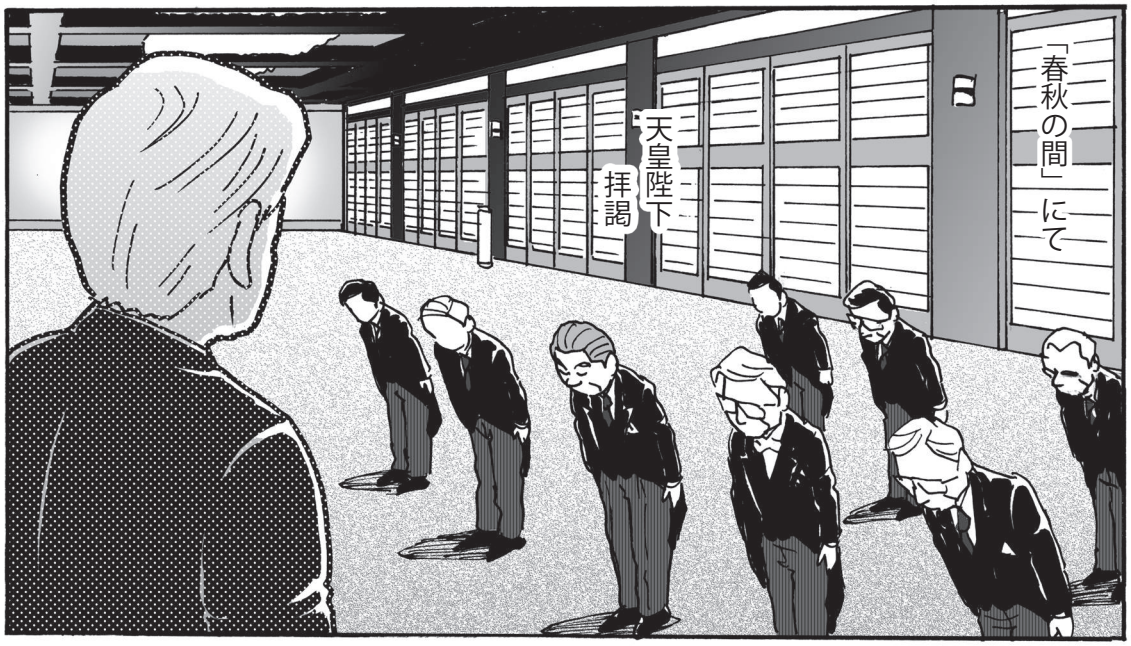
北海鉄工所の歴史と、
林社長の仕事への想いを静かに
語っている――

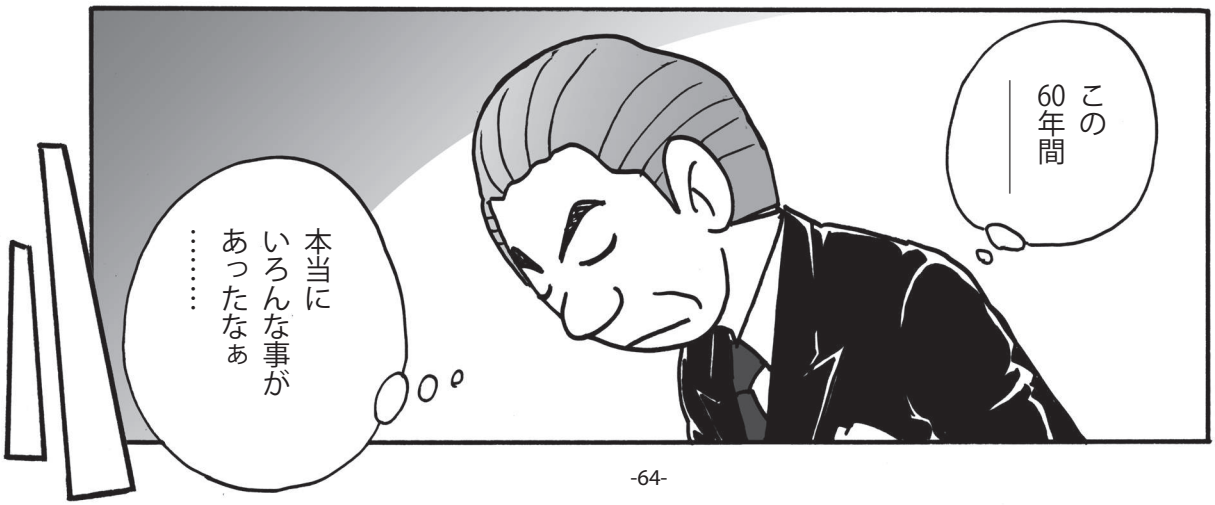
平成21年
4月29日付

林社長が
旭日双光章の
受賞者に
選ばれた。

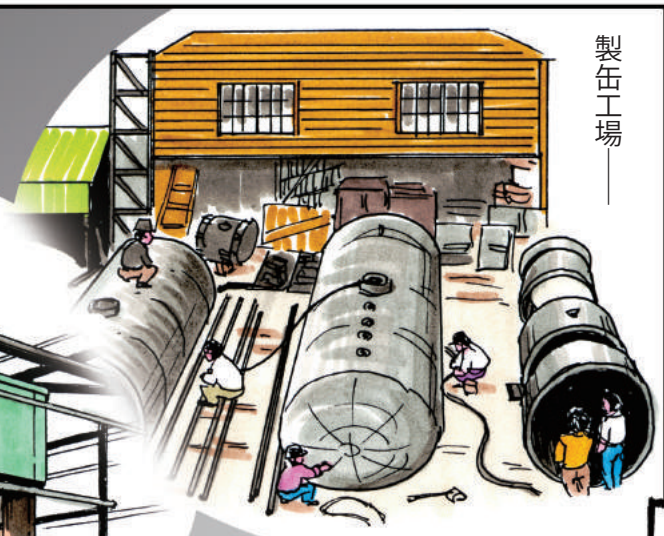
平成21年
5月15日
午後



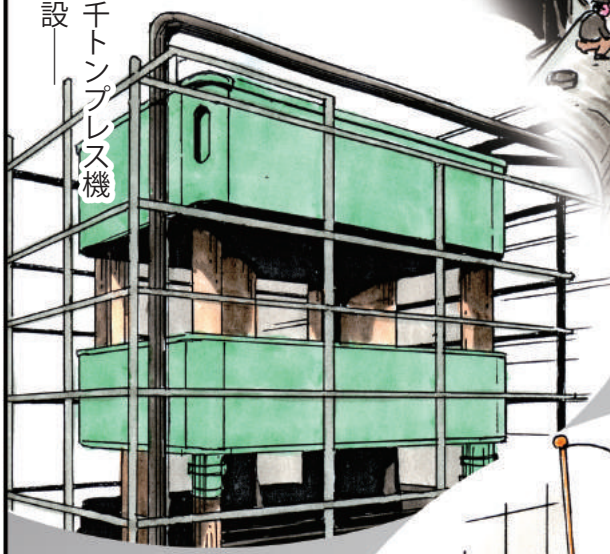




製缶工場——



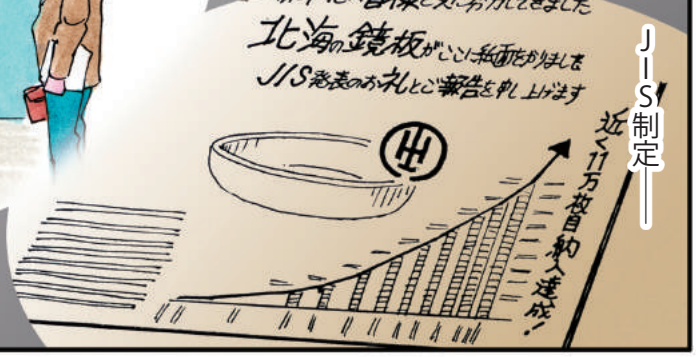
6千トンプレス機建設——



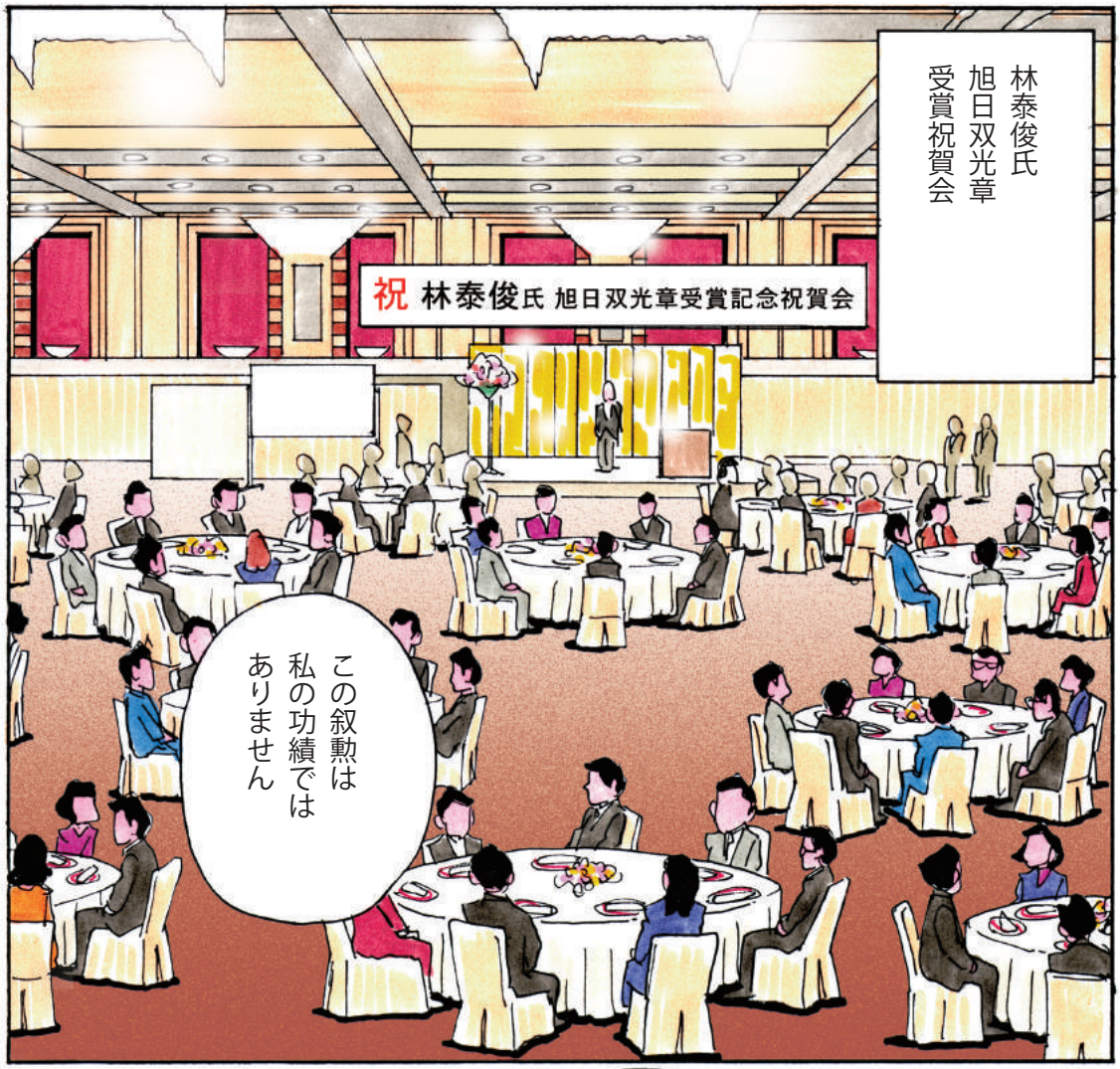
組合のストライキ——

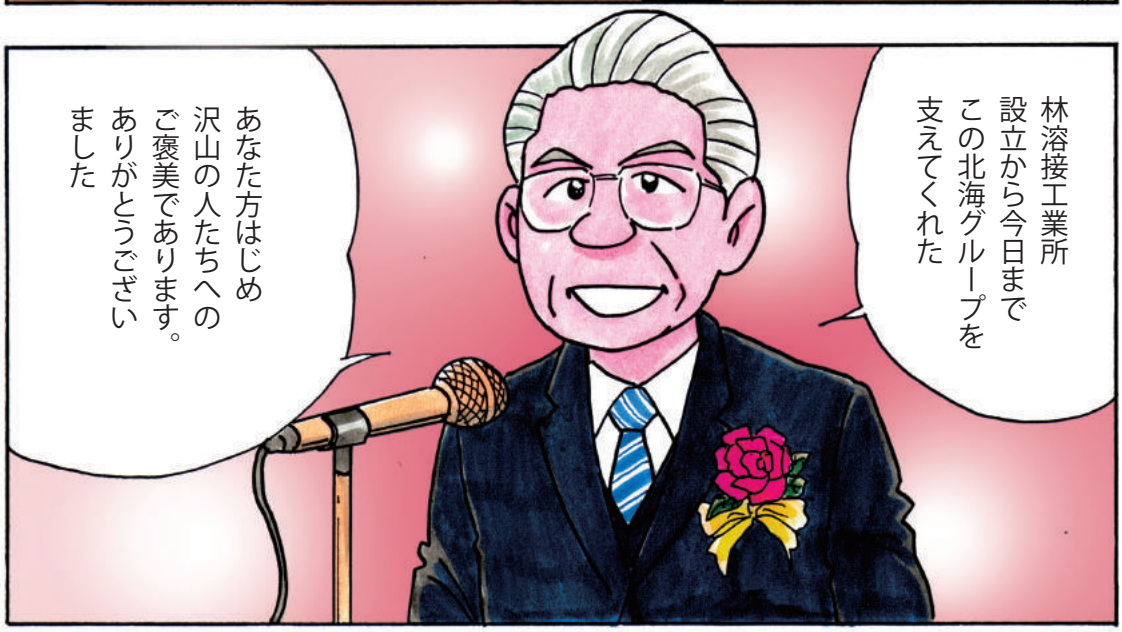
第5回大阪国際見本市——

JIS制定——



UTC幹部の視察――
岸和田工場への集約――
YHC開業――
ハレー彗星探査機打ち上げ――


林泰俊氏
旭日双光章
受賞祝賀会
祝 林泰俊氏 旭日双光章受賞記念祝賀会
この叙勲は
私の功績では
ありません


林溶接工業所
設立から今日まで
この北海グループを
支えてくれた
あなた方はじめ
沢山の人たちへの
ご褒美であります。
ありがとうございました

HOKKAI

2009　鏡板を極める

原作 北海グループ社史編纂委員、画 ラッキー植松、発行者 北海グループ、発行所 株式会社廣済堂　　初版発行　平成21年12月